始ご同

分力

れて奏亦を見た。

よりも、郷の結束力

組閣工作の成

東京特電七日發」繁磁繁交徴に重大観響を来

千川

蚁然岡田內閣

蚁友會分裂必至

(日曜日)

崎

氏が入

床次竹二郎氏

秋田

議士相當

製脱黨

大臣を希望せず

東鐵主任級の主張

になりはせわかさ

のか合せて

歴中であつたが、いよいよ談友三し、迷驚よりの入職者について考

山崎達之輔氏

を含から離れるこさになるさ度

を酸成したり、今回の陶田大精の この意見な取極めた を酸成したり、今回の陶田大精の 重点 国際は遊濫出身の大臣を希望せず をでは、 東郷管内主任機は協議の結果

場一致派

部リ紫藤郎の五分にして齢去した 本非本主義で連む事さなった旨を

政友會の

分裂と

政界革新機運

5



田内閣の顔觸内定 界 木 静 人物要 治代害本藥 小姚娟 孫武 林 本 人制印 地體一計可聞公東市連大 紅猴日洲濟 致會改練 所行复

【東京特電七日發】 停頓した岡田大將の組閣は政友會の分裂を犠牲として七日朝左の如き顔鯛れを内定し、午後 政友三、民政二 貴族院代表は1 0 割當となり 人閣せず

者のない ことが注目され され、結局政友會三、民政黨二の割當となり政黨尊重の色彩が多分であるのと、貴族院の會派代閣員名簿を捧呈し、親任式行はせらるく豫定である、卽ち六日文相に豫定された松浦氏は政黨關

文司大海陸內外內閣 部法藏軍軍務務總 大大大大大大大大 臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣 銑 十 文弘啓 信(陈灰館) 即 生金 毅介

拓鐵遞商農 內閣書記官 制局長 長臣臣臣臣臣 河 田次田崎田 田 **介郎清吉治** 采 磁磁 磁

烈 新拓勝

岡田大將若槻氏訪問 は無かつた 話

の機器代が二十個前後、その他 の機器代が二十個前後、その他

東の歌さは標達らず流光であるが 東の歌さは標達らず流光であるが 東の歌さは標達らず流光であるが でのテロ行為歌行能事豪靡にそ の余歌なく人心の不要も様を越し て敵大平解化しついわり、なほ去 る三日、四日に取り北郷クラブで る三日、四日に取り北郷クラブで る三日、四日に取り北郷クラブで であるが

ギヤング

9

の態度協議

民政に協力要談 短続いて、 一般末を報告し次いて民

一百圓の

國境線赤軍

漸次平靜

間田大将に組留の暗に潜し飲めね」 なかなと四百個な

ては本年度防疫野薬決定の爲来る

全滿衛生會議

の部屋代十個、織田の部屋代十個、織田 に達しやう」 0 さの動見で政策は未だ持合せな 合してごうしても一日二百個の合してごうしても一日二百個の合してごうじて、親娘総者がこれは大 製造して来たが。これが舵々不 表を来しさうだ。

は職業だけではないらしい

◆…しかしこれまでの多くの内閣 の組閣戦艦に戦べるさ、お話に ならぬチッポケなもので提灯に

など、当さらて左の二家件に関う ない。 方的階類並及に関する對

この外中央解より提出の一、見重衛生(文教部)一、規煙(專實公署)

木派は脱黨防止謀議

千歳丸 八日午後二時大連

食料品東門 9

直輸入元

オリアンタル

洋

洋菓子

扶桑丸 八日午前九時三十

蛇角蛇

岡田大將今

度鈴木總裁訪問

せば斷然引拔く

内閣が概まりかいつたら、 た 大氏一派、乗りかけた船だか

機會が来たら別れるもよからう。政権派と非政権派は水さ減た、 その政権派民政策さ合派、政権

ち立往生さ御座いる 流行網の注意 態度像、煙たぬ前か たっいて、かかるはスンナリー

々非々で進む

政友、岡田大将に通告

はを送らず

職場所掛き 親任式に関と数外を進行しま を作用温り。

で、無記のまって後を迫つて来たったが影響へ選入ったと思ふ

◆糖素内閣別議の一型は實に減 方育は音以来問題さなつた中島、 方前議會以来問題さなつた中島、

的い手を突 もて脚な貧ひらばつた。 手にジリル〜力が湿入つて来る 「苦しい。あなた、手だけ

岩のやうな際に掛けた。 「私、書さも聴いこさなんかしやなした相手だ」なした相手だ」 「棍手つて?」 「白狀するか」

お子樣がよろこ ピクター 0

おむすびころりん音楽音供売電路 ズイズイズッコロ橋い れたや (*清海は海に三流づったって) マウの理事子・平井英で でし、からくり本多信子 2 U 本平 多井 信英 子子 平山、高山 平山美代子

小羅倉紗 厚 司 大連市信義町市場C

器 四 四 五 十 行

幕 囐

印物一式

のれん

宣傳機 厚司マリ

(50) 內日

間便用電

岩田專太郎 小島政二郎

「御用つての、旨く連んだの?」 「いつ解つてらしつたの?」 なすったのよかなだ?」 「神殿なさい」
「神殿なさい」
「この人事人め」
「この人事人もの」
「この人事人もの」
「この人事人もの」
「この人事を描いなが、
「この人事を描いない。」
「この人事を描いない。」
「この人事を描いない。」
「この人事を描いない。」
「この人事を描いない。」
「この人事を描いない。」
「この人事を描いない。」
「この人事を描いない。」
「この人事を描いない。」
「この人事を描いるい。」
「この人事を述れるい。」
「この人事を述れるいるい。」
「この人事を述れるい。」
「この人事を述れる

下だけになるのか、原因が分らない 総つてゐるのか、原因が分らない。 を恐くつて仕方がなかつた。何を というではるのか、原因が分らない。 そのまま、世のさ ころへ持つて 一、電話香售情報報事項 社会民名、住所 所屬電信局名、 対 付御申込ニ依ル電話番號ヲ登載シテ配布スル 新區域各地ノ官公衙、主要商工業者、名士等ニ話區域各地ノ官公衙、主要商工業者、名士等ニ

かかるは手足を削さながら鳴い 「御鬼なさい」

がけだけ、白い乳房が剝き出しに 「俺が知らないさ思って、實際的

「疲れてゐて眠いから、お先きに かかがは、迷へる羊のやうに続

郷ノ配本ハ本年八月末日

大連市浪速学ハロ

B型モートカメラ (額端) 出に、海に、 電話長四二五三番 (F3.5レンズ付) 9 0 111 人型モートカメラ

を取り出して、かなるの目の前手を放した想兵衛が、懐から電 ムシガツイテキル

8七夕まつり8

童心ゆかしき

夢の世界

日

ME

部服用さらたのですが私共に大人、小兒用に應じもう既に

部る一部の日本橋校伊藤訓祭は

ものでは下入院中の巡上兄弟さ共 生花師匠なもてゐた「鶏真は平一君」ものでは下入院中の巡上兄弟さ共 生花師匠なもてゐるが遊が悪い

息を

貧困を

入院したが六日午前二時死亡した

腹痛で缺席 受持訓導語る

結果と断じ難い

全國學生軍を

邀撃する全満軍

新進選士を以て編成

会國際年職副業置第一行五敗九名公國際年業選界の構能なすぐった 十五日柔道爭覇戰

が戦の既確を記載中であつたが同したが満洲回覧のため緊張され城」は継続中であるした、様木十数本を取りはづして、入つて約四百の順城が五常に観米に興戦が観米してが出れた。 して遊走したが、間域を塞しなかつたので同日夜に して遊走したが、電子特體七日整 五日午後流流 総は水密のためが戦へ通さなつて 関は発騰三さ人

列車顛覆計畫に

拉濱線五常に匪賊團

襲擊

かつたかさ疑ばれてゐる 道に不完全な處があったのではな 数名の生徒

いて機防縦艦

死亡した小桃平一君は三、

1 主象を着さなつたわけである、一生象を着さなったわけであるが際としている。 三年紙の級是を載めてゐる程で性

対異體質の 者には反應 製劑者大野醫學士談

数出した機があり、 窓出した機があり、 窓上の単原線解のために赤刺魚

加藤技師語る

な優等生 ソ聯一流の計

七 年

本年始めての試みさして新

夫君(こ)は重態で大連警院に入院中であ

養してゐる者もあり、ほこるが、なほ五、六名は下の

使用に便なため既に

想せられ

室で彫り合ひを始めて開催

すき焼

凉しき會席

柳又横云二銭之二円四割引

食放題 (潘出新平白雲)

御 人 推 二 円 三 十 銭

飲放題に限り二十銭)

(別にピールー本は

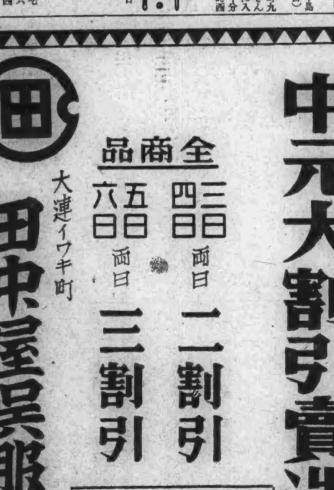
·五人楼以上·

3

は

店





當局・検擧に大音

れ・學童が

の豫防薊

服用者に赤痢患者

石が續出

糖価低の準定

面の軍器を開

巡回列車を

利用宣傳

殺菌不完全の爲か

〇B連も 若返り競技

船へ持越した

料理屋での喧嘩

最も近代的な贈答品

カツトグラス

火夫、石炭夫を刺す

何れる赤十字展院に擔ぎ

犠牲者の小林平一君

眠つて自殺失敗 を経験し変異和言

と 15年前四時ごろ西公園派出所説 歌下本書に保護常置し身評調査中で係々と賜つてゐる青年を養見取 である でいる 15年前四時ごろ西公園派出所説 歌下本書に保護常置し身評調査中 自動車修繕工救はる 苦力・丘上で縊死 嘆いて

明大校友會

天気予報

焼失を発る

大連發航空郵便

行嚢丸焼となる

飛行場から京城局へ運送途中

煙草の吸殼混入か

の住意規治りさなつたので同般に一意規局的け残武中間四

4444444

來戦を目ざし







一部ペリーセット 一・二〇 雑テー・二〇 品コーヒセット 一・二〇 和コー

御贈答品賣出

其他水物玩具。砂遊道具・花火等豐富に取揃へて居

電話四三七九・七五四三

取がへて何座います 動物へて何座います

の出現は大連県新館を一続せらめ ・ は後来の開源さ歴が投作二書館 ・ なる時の配表より後週一本外国 ・ なる時の配表より後週一本外国 ・ である様にであり、二書館

この健康美の

No.291

誰が知るこ

人者の長谷川伸脱信、糖嫩治監督の子での直八も女房の前に楽は持たない……

直八子供旅

行けば鏡に不自由のない和泉 表理さ人情を描いては第一

即申越不第カタログ郵送 報子用透明紙袋

0

一江月せの間にやア、化物は唐れえのちのものよ。 箱根から鳴う、おうこ

高い、宇津谷橋さいふのはこれだい際められる。羅根から西で名ので思わられる。

實際で威撃つて見せた時だ。

松竹、日活の二番郷が現れたり 市内六龍は全部日本映画の上映館 なり、外間映画ファンを楽しから なり、外間映画ファンを楽しから なり、外間映画ファンを楽しから

ビクター管標果園で提

セロファン

「ナアニ、如何に腕が立てばさて

・かる丸に乗脱す五日大連看、同 で決定、来る十二日神戸出戦のば に決定、来る十二日神戸出戦のば に決定、来る十二日神戸出戦のば

市内各映書館は

混合プ

口時代

東和商事系統、メトロ、パ社の

優秀映畵を續々上映

納凉淨瑠璃會

奥地館主の不承知のため桃長二郎



膳

忘

仕立券付

ワイシャツ生地を

お勧め申上げます

御中元御贈答用さして

これが浴髪々々の近々に評判に 「は、この時である。 これが浴髪々々の近々に評判に 「は、この時である。 「イヤ、何島の織中でも、お館の は、この時である。 「イヤ、何島の織中でも、お館の 人 でいか、 たれでも、 原によれば、 百 で かなりやられて居るさいふこさだ ん かなりやられて居るさいふこさだ ん で かなりやられて居るさいふこさだ ん で かなりやられて居るさいふこさだ ん で かなりやられて居るさいふこさだ ん

作者だつたから、いゝやうなも さのこさじゃ この字準谷崎で出食つたのは、 さへ、すくなからの人命を失つた さん さんなからの人命を失つた さ響き加へられてゐた。

でのは、「何の中で、そう大野を上げたのは、「何のの。これだけの人戦の前別でで、さい、他の中で、そう大野を上げたのは、「他の中で、そう大野を上げたのは、「他の中で、そう大野を上げたのは、「他の中で、そう大野を上げたのは、「他の中で、そう大野を上げたのは、「他の中で、そう大野を上げたのは、「他の中で、そう大野を上げたのは、「他の中で、そうない。」

エ 戦の老木……その桜の木の絵に係りかりつて、ニャー 奥のでこつ りかりつて、ニャー 奥つてこつ ちを見てゐる。 片眼片脈の立ち 獅 に 東の定。 中洋谷城の山遊の草は、たんまり 中洋谷城の山遊の草は、たんまり に、荒下左腰のふこころ城「心臓」 に、荒下左腰のふこころ城「心臓」

かに強入って、足並み揃へて一種に歩いてるた。 製ふを聞に、職も気が付かなかつ の鉄在。 、この時見事に常はれた。

無の夢さなおれようさ、間道に

本 日イグノー エンゲイ

加茂林長二郎

來滿に決定

日より三日間中央映画館にて舞館があったが、一行の鎖ぶれば、極疑二のたが、一行の鎖ぶれば、極疑二のたが、一行の鎖ぶれば、極疑二の外中輸出とある(高度は是二郎さ花間第子)







答

用

品

御

は

行

貰つた方の







おもなるの名の名の名

分氣いしら騎業るよにンタスエウ機名 !氣園雰るた然渾!び喜のシアフ級高

大ねの活

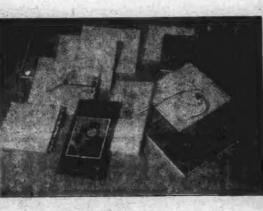
高血



最も實質的な クレープ・麻肌衣

見るからに清新水豊かな お旬心地極めて爽や かな肌をは、いつれも弊店の特達になる優良品 ばかりてございますから、何方様にも悪ばれ中 元の街道物にはさりわけお恰好なものさ存じま す、クレーブ、ポイル、麻、絹等下記の数十種た 調準に取揃へ特質が以て提供申上げます。

五斯製 一枚 六十銭以上……二 圓內外迄 一組 一圓半以上……四 圓內外迄 麻 製 一枚 一圓半以上……四 圓內外迄 一組 三 圖以上……八 圓內外迄



中元の街道物には ハンカチーフ

夏の御建物用さして優良なハンカチーフが一番 お恰好かさ存むます。全く一年中を選じてハン カチーフ程簡便で實用向の側進物品はございま すまい、浪華洋行には英國産年崩、スイス製の エンプロイダーを施した美しい婦人用等物裁の よい面入にて学打入、一打入のものな豊富に取 揃へて居ります。 打七十錢•八十錢•

一個五十錢。二 圖。二個五十錢 一圖五十錢。如 圖。五 圖 七十五錢。九十五錢。一個五十錢 一個九十錢。二個六十錢。二個九十錢 三 圖。四 圖。五 面 七 圖。八 圖。十 圖

洋行の商品券



解老准官 0 社會式和調査本書 州州代州県

壓の危險 自由の b

俄然好

贈るに便利 受けて重賞な 連商議態度

過去の歴史から注目されてる

滿洲國の

都市計畫

省縣公署と協力

大阪滿蒙輸組

神户屋株式店

駐在所設置中止

拓務省廢止問題と

前提なりさの報道は直接の管下

の必要さな痛感せしむるものあ つれに響み、敢然さして同省存 の形要さな痛感せしむるものあ の必要さな痛感せしむるものあ 意識またこれに動かされてその 意識またこれに動かされてその 意識またこれに動かされてその 意を表示し、途に拓務省を存板 かなどして同省存 る態度を眺るや艇を注目されるさ を原体表示し、途に拓務省を存板 かれない機識である

大連壺蘆島航路

愈よ大汽で經營

五日一航で日東丸就航

六月中輸入麥粉

濠洲粉優勢

豆粕積出問題

制時代において真剣にその昇格 ・ 大きないやうだ、常年局 ・ 大正異存もないやうだ、常年局 ・ 上に異存もないやうだ、常年局 ・ 上に異存しないやうだ、常年局 ・ 大正異存しないやうだ、常年局 ・ 大正異存しないでうだ、常年局 ・ 大正異存しないでうだ。 ・ 大正異存しないでうだ、常年局 ・ 大正異存しないでうだ。 ・ 大正異存しないでも、 ・ 大正異存しないできた。 ・ 大正異存しないできた。 ・ 大正異存しないでも、 ・ 大正異存しないできた。 ・ 大正異存しないでも、 ・ 大正異存しないでも、 ・ 大正異存しないでも、 ・ 大正異存しないでも、 ・ 大正異存しないでも、 ・ 大正異ないでも、 ・ 大正ないでも、 ・ 大正な

拓務省の廢止 不同意者はあるか

問題は新内閣成立直後の重要なない次第か、さもかく拓書存否流れにはやはり變散改論も除儀

都市建設事業費

滿鐵社債四千萬圓 賣行頗る好望

下期財界の實勢がトされる

新税率を利用 市商會策動

の反映か

殿と総治問題に利用せん 実施に本野であるが、支那 実に不野であるが、支那 実に不野であるが、支那 実に不野であるが、支那

0

開設消遣機闘さ重戦するためこれ

七月號發行(大連外沿線書 日

記事

| ○現物前機(

五品保

金利引下と滿洲金融界 神鐵の中堅社員(そのこ)

方經濟事情

北安鎭を見る

五回見本市前況

金融の一般を表字地)経過

部で出車地は大連地震さす。 の江橋縣に対ける政線及 内直通大豆混合保管の が八月より末日までさら数 で出車地は大連沿海 で出車地は大連半頭さす。 豆混保取扱

好沈、下引受 に 衛行き 順る

為替相場

1100元许 ● (奉 天) 奥地相

李を飛ぶ狼 羅門光三郎 選に死去致しましたが七月レ 養致しましたが七月レ 八日封切 た月七日

原 駒子:主演 副

日盛五割三分の輸入を見せるに翌 本にない早態の結果米和粉の品 一、米測方面における羊毛輸出ン 一、米測方面における羊毛輸出ン 一、光測方面における羊毛輸出ン 一、光測方面における羊毛輸出ン 一、光測方面における羊毛輸出ン 一、光測方面における羊毛輸出ン 一、光測方面における羊毛輸出ン 一、光測方面における羊毛輸出ン 一、光力を強性により貫手接へなり 本とな来はにより貫手接へなり 本とな来はにより貫手接へなり 本とな来はによる内地粉の引上げに をは日本際ボの事情とあない様だが、 本になら、と、大の臓心を振つてある。と、大の臓心を振つてある。と、大の臓心を振つてある。と、大の臓心を振つてある。と、大の臓心を振つてある。と、大の臓心を振つてある。と、大の臓心を振つてある。と、大の臓心を振つてある。と、大の臓心を振つてある。と、大の臓心を振つてある。と、大の臓心を振つてある。と、大の臓心を振っているが、天による内地粉の引上げに をは日本際ボの事情とある、機能は一千直形を見てるない様だが、、半でも五日上海線状の原より部時である。と、と、本には、こ日より物臓されてあるが、天に、ころによる内地粉の引上げに をは、こ日は一般があるが、天に、こことでは、こ日は一般があるが、天に、こことでは、こ日は一般があるが、天に、こことでは、こ日は一般があるが、天に、こ日は、一般では、上海では、上海では、こ日は、一般がある。と、と、本に、こ日は、一般が、大の臓・と、上海では、上海で、大の臓・と、上海で、大の臓・と、上海で、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海では、大の臓・と、上海では、大の臓・と、上海では、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海では、上海でも、大の臓・と、上海では、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、大の臓・と、上海でも、大の臓・と、大の臓・皮・皮が、大の臓・と、大の腫・と、大の臓・と、大の臓・と、大の性・と、大の臓・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大の性・と、大 文に現在常市市況を見るに安使一つた、なほ上海粉も十萬雲の健少った、なほ上海粉も十萬雲の健少 るかも知れぬ。(高松生) 募債交涉進捗 四分利の好條件成功か

課税の均衡を要求 も近く操作されば、 と近く操作をあるこれば、 というと 要する大紡織工場を完成業元賞のため庫倫に職工 七日登園通】歌地養骸

海運聯合會から

北滿 作物不良

版書もあり昨年度より記した。 に南部地域より悪く、又 がは南部地域より悪く、又

等が網出しつ、ある映態であるが ・ その歌大性に鑑み、総意鑑行 は、その歌大性に鑑み、総意鑑行 は、その歌大性に鑑み、総意鑑行 なっ、をの歌大性に鑑み、総意鑑行 なっ、をの歌大性に鑑み、総意鑑行 なっ、この歌大性に鑑み、総意鑑行 なっ、この歌大性に変み、というなが

豆昻騰

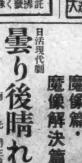
八月限二二三二一〇 相數

日養」銀塊及英米クロス と日外銀行には那の賣物 一四、八分の五まで賣つ 一四、八分の五まで賣つ 一四、八分の五まで賣つ 海標金 九八四元七九八四元七九八四元七

> 外科》於是語科 X 整形外科

便利で體裁の良い商品券發行料品の職入廃請大勉強料品の職入廃請大勉強 化粧面入二打入四打入其他

代表長五四大衛



水一三八、 七三八、 大 九 九 九 九

第二回神戸日本

報卸告賣

東廳から市

紡績工場建設 **頛工場建設** 聊の外蒙工 營業繼 二を除き全部出揃ふ 東京株式

海外銀塊安で海外銀塊安で

の支店であったものが概立して内 行に機能するもの、又は外画銀行 行に機能するもの、又は外画銀行

を受けてる、同じく大連の権をを受けてる、同じく大連の無力であるが、大連なごでも を受けてる、同じく大連の権をを受けてる、同じく大連の権をを受けてる、同じく大連の権をを受けてる、同じく大連の権をを受けてる、同じく大連の権をを受けてる、同じく大連の権をを受けてる、同じく大連の権をを受けてる、同じくと連邦を受けてる。

況年 思

見常先物は三十七銭見當てあつた 物は三十七銭三厘頻三十七銭一厘 門筋の實情みのため氣配戻りて現 時間事、當市は産地凝りを輸入 解袋 産地緩、青共八分一高、

品

大阪棉花

波斯灣よ

物產原

E

老 業立以來引所創 鋪之餐

配の

(巨曜日

田剃

個〇大泥大座口會協

けふ午前一十二行はせらる 全

東京特電七日發 再三髪更を加 結局八日 T せらる

監官長臣臣臣臣臣臣

氏の除籍處分當分預り

機に瀕

離黨者縮減に腐心

內紅惡性化

名に止まり、欠原氏の如きは総合
名に止まり、欠原氏の如きは総合
変は繁外小範圍は機機変はや利して盛ん
に磯友会切り崩しを行つてぬるの
に磯友会切り崩しを行つてぬるの
に磯友会切り崩しを行つてぬるの

入閣派脱黨せず

黨内から援閣の申合

の議員機會は床次派を除く約二 裁の

たが 学院名成分に が幹部にはなる が対象がはなる。 があるがはなる。 があるがはなる。 があるがなる。 がある。 がなる。 がな。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がな。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がな。 がなる。 がな。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がな。 がなる。 がなる。 がな。 がなる。 がなる。 がな。 がなる。 がなる。 がな。 がな 方入脈派は除

かっちるの 憲政常道復歸

岡田新首相も念願してゐる。

村作行、光潔歌吉氏以下議員出牒を経木郷壁以下山本惟二郎、川門を経木郷壁以下山本惟二郎、川

絕緣回答承認

機削酸相は語る 「東京七日養園通」剛田大將から 會見後高橋前藏相の談

後つてこの際第四の争ひを載け 素ふ話をして居られた、然ら内 関は側長のための内閣であって 戦) な友會は分裂するかも知れぬき をここは側長の信頼を繋ぐ所以 第二

に復讐するこさな念師同田さんの話に感服と

日滿經濟統制根本策の確立

鈴木總裁聲明

【東京七日養國通】鈴木總裁は七 日午前十一時半岡田内側に開僚を 代表する政黨の協力に使っべき 激らさる理由につき左の如き聲明 は言を使たす、然るに岡田大將 書を製造した 利下内外の情勢は暴岡一致を要 の組織せんさする内閣はその組 の組織せんさする内閣はその組 のに関いて之を軽視し、 でするこまれ曾て今日より急 その組織の方針に於いて之を終し、 成制電

「いっぱい」という。 「いっぱい」といっぱい。 「いっぱい。 「っぱい。 「っぱ

學國

は凡そ縁遠し

いかまでもない。
さあつては、想はは選択を揺くてもない。
さあつては、想はは選択に多った場合である。
を関係が新内閣の一般中間内閣に多の立場を高れて総の数様が新内閣の一般中間内閣に多の立場を高れて総の数様が新内閣の一般中間内閣に多の立場を高れて総の数様が新内閣の一般中間内閣に多の立場を高れて総の数様が新内閣の一般中間内閣に深入りするが如きこれをしている。

◆職并職権が高橋老の傀儡であ

中だけ至外地の監督者のやうい傾はとい存在であった▲唯だだ て一切なカバーするさ

反岡田 不氣味な沈默 の艦隊派

全回費無に於て種々御配置場った ・ 大砂な本部に若宮院事長を訪び ・ 大砂な本部に若宮院事長を訪び

事を慰謝するさ述べて零時三十分 動士之にて間日大粉と歌な動さの 受懲に一敗家を告げた

米大使廣田

入閣經緯

と監視の建定者を懸更するに至つ あり、床次氏は七日午に総館を行つたため跡、民味源さ つたが、順田大粋は秋薫よりの人職者に就いて最も入意 の外、秋田、山崎県氏東京四日登画通。岡田大粋は た、床次源よりの入園

松田町田兩氏

が かから終一時間にわたり剛田氏されて 無臓の末、窓に秋国氏の代りに内 の中で大氏は秋田氏を統則して減燃されることに概まれて を求めた

松田文都、町田樹玉さ決定したのしたさころ松田氏は焼躍し、蛇にしたさころ松田氏は焼躍し、蛇に

町田商相好評

今後の成行注目さる

閣提助派は床灰氏の周幽約二十 本でもなく、驚内に居愛って、までもなく、驚内に居愛って、ない、私にしても疎惚に近づく一人をできなく、一人のでは、ないない。

る。即ち我黨は並に関係を送ら であこさな聲明すると共に我黨 獨自の見地において剛運の進展 和立とす 【東京七日後國通】鈴木總裁の入 部訪問 河田氏政友本 絕緣一段落

見れないさ

他の時出に禁しる然同意で表明す 外変をアップ・シエートする智を 機調した、胸田外根も右グルー大

閣僚身許調查

決定直前入替へ事情

主機林の目的は高梁家茂切を目 前に東北革命軍を組織しる場合 が各院城項目はソ聯の援助雅 るが各院城項目はソ聯の援助雅 もこ見透しなつけ参加するもの もこ見透しなつけ参加するもの

五常包圍匪團

撃退さる

エンサ氏が

が、古い後

職東州のためには事務職選上郡。 で職域だけの監督信で報戦、警 では、本来南

を描く▲ 野歌であるなどを選や暗さりり、歌歌をを指しばいる。 一張の実動があるなどを選や暗さり、一般の実動があるなどを選や暗があるなどを選や暗があるなどを表して、

十一時四十分樂如線百名の無側は 五紫線域を健康の銀行名の無側は 五紫線域を健康の銀行名の無側は が第〇〇前常管佐藤中粉電舎前に 強つたが日満軍のため登廳線作業 を受け製退された、なは乗順は電 たったが日満軍のため登廳線作業 になる。

合せがないさいふ。

の如き民衆心理の上に

ME

田文部の民政黨二名さなつた。 は床次遷信、内田緩道、山崎之れによりて政黨方面の入閣

のは學國一致内閣たること

の點に於て聊か舉頭一致の賞を の新入観を見ない點に於て

(日曜日) なければなら 世が分裂する事になれば

り、同路同長は駅に副業権を有し てるたのみであつたものでその成 では注目されてゐる 日本警乘兵

便乘停止

北平山海關間

個司が車並に人が財産の安全に高 るも支那側は通動態施に事態問題 普通館便続は毎日平均三萬通、人一郷館の験池を希望されてゐる兵を便乗せらめ、支那順種路兵さ 次の必要は各方館に痛続せられ居 る、なは通車貨施以来清冽に入る | 住の多敷に塗するので一日も早く海脈の残車製船のため日本郷野栗 北平間通車の荒船以来通郵問駆除 りその質船校式を含む考慮中であ | 國際中の国際郵便続に覧に八十萬率天間直通列車側通以來北平、山 『北平特電七日發』 春天 | 以外球治的に滿洲國承認の觸ひあ | 鵬戦便続は更に多数に上り又滿洲率天間直通列車側通 | 本月一日北平

票を經視す こては自ら語る如く必ずらも政二の次ぎになつた。岡田大將さ てわらうが、實際に於ては極 たこさになった。此處に端

月

七

の變更なとざ見られる。此の内閣の延長さ見られ、政策に特殊

るこの理由及び資界氏の輸北線性、早間であるこの解釋を整ってゐる情報を書して常戦監滅の治安を書す、「常戦監滅が安定したこ見るのは東の脈内整備に越て支那段窓の感」めて来たが日本側は通事實行のみ部は通事問題の解決した今日職東、東戦の最級線外搬送方の解除を共都は通事問題の解決した今日職東、東戦の最級線外搬送方の解除を共

を得ざる場合の外は日本警備兵の を得ざる場合の外は日本警備兵の

なく日本側を乗兵の必要を置めざ

北寧鐵路警備權

國籍別

郵便貯金者

| 本人 | 一次 | 全額 | 人員 | 全額 | 人人 | 一次 | 三四% | 三四% | 三八% | 三四% | 三八% | 三八

市日入浦せる一邦人はカイタロフスを越えて分岐してから或る中フスを越えて分岐してから或る中でがその他の兵備は容易に見るこれがその他の兵備は容易に見るこれがその他の兵備は容易に見るこれがその他の兵備は容易に見るこれがその他の兵備は容易に見るこれができません。

我々の直面せる!! 記一節あり同地方の

の事態は相當通

下位春吉氏

ソ聯より來滿 一邦人談

つき突込んで考へればならのと語に見ら解我々はロシアの現状なら

委譲を要求

殷同氏の留任條件

記の如くであるから、齊藤内

通郵實施形式に 支那當局苦心

電気機とは 「動気特置七日盤」 整体 動の際取下の御行事に搬はつた では過程の秩父宮殿下御来 では過程の秩父宮殿下御来 では過程の秩父宮殿下御来 では過程の秩父宮殿下御来 では過程の秩父宮殿下御来 では過程の秩父宮殿下御来 では過程の秩父宮殿下御来

七日後國通】ソ戦を由っ

獨立運動熾烈 ラ

製成ウクライナに於ては共産艦の 【新京特僧七日鬘】情報によれば ソ聯政府崩壊の端か 府監局はこれが野家に関心してる

国日間大連地方法院で開催される 四日間大連地方法院で開催される 馬東部野祭聖明主任製師に挑脱の 馬斯京野祭書倉田司法主任及び標 「日出製の津定である、なほ同僚 八日出製の津定である、なほ同僚

反ソ運動

ヤー

司法會議出席

大量的電付けをなす機構である大量的電子を表示したが今後も引電子を受けばれる場合におかりまる大量を受けばれる。

よって治権を掌握されてゐる關係 はこれが観楽戦 ヤート族二十五萬 でそれが影響と同 は猛然な震動な気が #によれば外歌車に

市事間を共にバタダイヤへ帰着といて報人の無談を取めた観測を表は六日午後六時木村総た野師代表は六日午後六時木村総でののでは、1000年の大田のでは、1000

宅の店

内外品主

シロツブミスカツシユミ ジュース フルーツ 罐 詰

ロスパイプ シガレツトパイプ 酒 各 種

商

宅の商品

品の完

カ荒原を加へてぬるが最近カリコ 鷲中央執行委員會の決議案中に左フ市で開催されたウクライナ共産

上中央執行委成の版金更に行はれ イアンカの如きはこれが責任感よ イアンカの如きはこれが責任感よ リロ親せる事党カリツ職政府監局 リロ親せる事党カリツ職政府監局

方面の空氣は著

長岡代表消息

迪車以來郵便物激增

調查員 水產業

交代表

平派遣不必要

日極東最終記行の影響をいません。

十日から

鮮滿連帶輸送

往復二割、團體大割引

七日

白

は戦略の勝引をなるて敗終の更にと往後は二十別とも戦性に対して

してるのに、一 南 甸子匪襲 鮮農四百全滅

水蔵物の調査を行び水産製み開催」 すべく右調査員は既にハルピンを 出製したが調査の上粉来銀河に大 が機様の滅場が開設されることにな を機様である 東が現地に総行したが詳細に不明である
でハルビン特権七日豊至重報』七線東部総将倫北一揆聖帝甸子は

(版內市) (二)

の輪廓

岡田內閣

のは清冽事件の締めくゝりであ

設

から駅内閣の使伸此處にあず。

人格で職見せ

に全力を検測せんこさを思む。 一歌共力して、此の阿重要開帯

内以行十五

ちやない。

なんかつて待つてるのも並大紙のないますのないというとうから

◆美内どうしたものか支援のの方 の悪口を閉めて解戦は何率かへ 行ってしまつた、さあ大戦だ、 発機制々でさへ混み合ふのに打っ で一丸さされちや御客こそい

の極影響して解

類内閣の閣僚は大略決定し

長城線外皇軍の

後藤農相は轉じて内相さな

撤退諒解を求む

南京外交部非公式に

◆魔は去る月曜日に寒かと二枚組みに日本概本殿へ思かけた、 ・ 大の山だ、でも紫を服の方は手 ・ 大の山だ、でも紫を服の方は手 ・ に跳れて居るけれ英郷や排らな に跳れて居るけれ英郷や排らな ・ に跳れて居るけれ英郷や排りな ・ で、サアさいへば直で振へる機

◆かつ事一時間半いっぱそれ遊だが なの為替の御下は をない。 のは此頭の

へ で動して家運動を開催事幣に懸動してあった 哈市見本市

(新京特領七日養) イタリー首は 「新京特領七日養) イタリー首は 「新京特領七日養) イタリー首は 「新京特領七日養) イタリー首は 「新京特領七日養) イタリー首は 「発館で開催されることゝなつたが は主催の見本市は九日より機能能 に対し、カードの概念は、対象が一人税である。 「大のピン七日養國通」日本機能

長崎園藝會出

盆栽庭木҈陳列即賣

七月六日より十日間

宣傳の爲廉價販賣いたします。

東京 引寄值值

ソ聯穀物輸出部

哈市で大豆買付

發國通 蘇聯教物

產金買上價格

針 票 軟 弱

後場市況♀

御用命は輸入元の弊店に 洋酒、洋食料品、洋菓子の 話四四九三番

白靴一足お買上のお方に 靴クリ 0 ム一個差上ます 賣

絹 の夏服 通と申さる、方々にお薦め申をであればこそこのお値段で斯くの如く軽く凉しく上品で

でち召しになれます。 上ぐる高級夏服の一 °洋日 服本

でいるだけ からしょしょうしゅうしゅうじゅうじょくしょ 見るなどうじゅう

を加へるに無つた

に使り日満間の交

通ば非常に緊急

する事が出來るさ言ふ日滿交通上

Ξ

Ξ

職次官夫妻(4)饶しき組閣本部で記者團に取卷かれた河田氏の翰長ぶりGBと総裁を私邸に訪問し援助を懇望(3)傀儡といはれ乍らも敷相に納まる藤井大書眞(1)組閣本部首相官邸に運び込まれた鮮鯛(3)岡田新首相、鈴木政友會

景

間工都市さしての支援にふきばしい正

のルーフ上に符合室の通路が脱けら用心さいふ制札が立つてゐる第一、

内心さいふ緋札が立つてゐる歌一、歌二まームの藤原が壊されこれる事天際吹遊の響きが炭天下に流れてゐる、工事中につき御・麦丁 天 配序 り コンミス

製価 一千熊な熊人するこさになつたが、紫歌 ないよしてある

奉天驛の改造『萬の大事天都市

其の表式

欧善等が研究され又滿洲圃さらて客を加へ溝洲を中心に教育方針、

開保は日を逐うて撃につき討議される答

王道、三民の

教育對立

舊臨楡縣の學校

『事天』全國中學校長會議「愈々

能される。 で出席者に約二百名の のに第二回会議を満州國首都で開 のに第二回会議を満州國首都で開 のに第二回会議を満州國首都で開

りに第二回会論を浦州國首都で牒 く取下同会に突逃中である一年奉天で開かれて以來十三年援 つき思憶なき意見の交換を行ふべいて開催されることとなったが浦一天教育戦合会員と変換を行ふべいて開催されることとなったが浦一天教育戦合会員と共に盛大な悲観

期待される教育刷新

き態度でないさ非難の繋が各方職の繋が各方職との訴訟を提起するといふこ

の妻女は法廷で「私が家實の保護」

今秋、十三年振に

新京で紫會議

い」さいふ理由で家屋明波を要求いらしいと保護人が種りにならな

力がないだらうさの節定のもさにて実践を滞揺しないのに支援ふ能でく代型総費士に喰つてからつた標のは悪だしないのに支援ふ能

てゐるが、最近出年に現れた事的

変質を支援ふ能力がな

び著るとい庭職を売し城内外日本 る八日午前八時から民衆教育館館 日本 活い 劫心 圧 ん 撃生の機能大会に刺媒され一層が 撃生の機能大会に刺媒され一層が

ま題にもく各所に問題を起し | 仲敷は終百數十伸に牽してゐるさックさする大家主源製公司の | みられてゐる、尚今日までの訴訟終策に大なる使命をもつ東掖 | 壁の紛野は益々増加するだらうさ

三千餘名さいはれば々増加する傾

れ職家主の構築に泣く者が多く奉天の發展に副うて破生した悲劇が随所に滅じられてゐる

慶士な選延に並たせるここができぬために繋び家主代理線護士のために説々選延で職しめら人はこのため被告の位置に立ち原告の家主からは恰も繁人扱びにされ借家人さしては代理線(事天)借家搬底から家主さ借家人間に粉縛な生じ途に選延に審きな願ふ着が多くなり借家

豕主の横暴に泣う

ニユー

一般に できない できるが 今回 変に 充分な サーヴィス かな して あが 今回 変に 末 ームの 職 に 八ッ が 子 で 変い 停車 中に ホーム の 職 解 に 八ッ で か た 高れ させて 滞 新 な 無 様 な 乗 へ か た 高れ させて 滞 新 な 無 様 な 乗 へ か た 高れ させて 滞 新 な 無 様 な 乗 へ か た 高れ させて 清 新 な 無 様 な 乗 へ か た 高れ させて 清 新 な 無 様 な 乗 へ か た 高れ させて 清 新 な 無 様 な 乗 へ か た 高れ させて 清 新 な 無 様 な 乗 へ か こ こ か ま こ こ に ま か ま こ に ま か ま こ に ま か ま こ に ま か ま こ に ま か ま こ に ま こ に ま こ に ま か ま こ に ま か ま こ に ま か ま こ に ま こ に ま か ま こ に ま か ま こ に ま こ こ に ま こ に ま こ こ に ま こ に ま こ こ に ま こ こ に ま こ こ に ま こ こ に ま こ

道中の無事を殴むる

つて御標がに一生懸動、色さりざりの深鏡につかまつて場には可愛い城兒を連れた。マ・さん遊が着城を噛した **変れてるた大小の河童速は飛沫かわげて剪を職**に**着口】水泳原樂部のブールは肥棚の如く四日**



冬營地物色 海邊警察隊 民は冬期中十萬國の金が落ちるも野にさり触る不便である。同地市

の能になる三勇士戦

た郷む圣見二丈餘花 士の果敢なる行動を

計四百五十六名でその前借は熱效

善良な借家人をまで追立て

訴訟百數十件に達す

おり加ふるに通撃児童な有する歌ーれてゐるが敷容力に於て遺憾の監 れてゐるが敷容力に於て遺憾の監 のという。

第行するさ
第行するさ

のさ見て其指定を徐望

八棵樹の護り!

動を備へてある着は船と惣原駒日

満教育會では今夏休長い 満洲の事情を貫地踏査す

三勇士の 盛大な除幕式擧行 大橋曹長、加藤伍長、中川上等兵の一般に建り端部計数事宜、生態物の間に建り端部計数事宜、生態物の間に建り端部計数事宜、生態物の間に建り端部計数事宜、生態物の間に建り端部計数事宜、生態物の間に建り端部が非を東原原版と

慘!四重

洋車に触炎トラックは ・ こて更に附近通行中 ・ ころ電四電線を ・ である。 ・ でる。 ・ で。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ で。 ・ でる。 ・ でる

殿で關係者につき取調中であるに整像を責はせた、目下瀋陽警

一次を観察ながらも内地さ比較して

のが毎日二、三人もあるさ

大部院観支店前を横切ックが暇方廊に向け断がった。

のに對し酸等の偿金のないものはになつてゐるものが十五名もある

ないが、現在態妓で無償金で自

機能(際成東方七邦里)を建設しの一味二百餘名が際威服第二區八の一味二百餘名が際威服第二區八

の東南約五町餘鵬れたる歌騰の丘。日正午より同地において盛大なる が今般態々後成を見たのご

操みに漸

く着丁

昭和製

鋼の代表社宅

・教育の解析に力を注いてゐる時 ・教育の解析に力を注いてゐる時 方面から非常に熟信されてゐるが 一エボックを動するに至るべく各 去る二十八日奉天な出景した教育 一名が九月十四日來奉を機會に奉 一名が九月十四日來奉を機會に奉 一名が九月十四日來奉を機會に奉 一名が九月十四日來奉を機會に奉 一名が九月十四日來奉を機會に奉 一名が九月十四日來奉を機會に奉 一語る

合計六百三十 百八十月、光倫際前百十六月、病別界の不振を探來した代用行き邀樂計畫たる對爐山下三」し邀樂那の憑起は延代用行き邀樂計畫たる對爐山下三」し邀樂那の憑起は近代用行き邀樂計畫を表演している。 八十戸、守備隊前百十六戸、病 非常なる際質を以て越 るこさゝなってゐ

展を阻止する者は諸

かさ漸く重大

下水遊敷酸の追加繁華の能上を極いて、して酸の自動を強力性下漸緩本社に難し右上所を協力性下漸緩本社に難し右上

へ見えてる

がを奏して先づ管理することとなった。 これも運転の森所見の赴連其他が によれば

更に戦山の一般標準 職心一部では早

はかりでなく は敷ったが工事が出来のまいった いて耐地上型 る鎌葉が舞まらず指角翅繁の手管 のでは、 は敷ったが工事が出来のまいった

土 数据館においてこと

後はこれを南

【奉天】事變以來急激に發展して

と催し

十六日施行八、

敷島校分校設立

奉天大東區に

羊豚改良のため

父配試驗場を設立

さらに羊種試験場をも設ける

奉天實業廳の計畫

| 建築数地の問題で満 代用社宅さして管奥 南鰕本社で地方 したが、今度は したが、今度は

七百の廻送船下航

中で撃生の勇権ます~一時まる。

(上海出版) 申報、時報、 (大海出版) 申報、時報、 (清東出版) 市民日報 (清東出版) 市民日報 (清東出版) 豫北日報 | 最の孫書堂氏も教師の汚吏さして| 駅設が魘雑され、古北口外密書版| 最近南京の監察院から十餘名の

では、いよく養服事集開始。 な」さいはれた有名な支那の國家。 な」さいはれた有名な支那の國家。 総なが風がさても総評嘖々。 松竹に入って研究した上海明星 0

その厳上老女鬼は鑑大の校践「以 対 郷さんです= 管秘等さんば、先 月何十年ぶりかで北平を訪れたので、 総京大駅では大晩理館を服ら 清明中美の傑人會國藩公の令選 沿線往來

新女性美の極致です

鐵都空の護りに 製鋼所が率先献金

營口水泳ブ

ル

開

かっ

方城見水泳

水の掛け

不景氣知らず 廢業者每日二三人

睾天附衞地内料理店の蘇酸場だけ 【事天】女性の魅力は大きい→→

着工 さるゝこさゝなつた

巨額の金を稼いでゐるがこれ等

四日よりの夏斯休暖を利用して日本天省野京職では来る十 のために協和會議督所の日浦學生 王道主義宣撫に 職してゐた萬國和十字會職職の滿 所を受け激励繁深殿の取識を受け 派を受け激励繁深殿の取識を受け 派を受け激励繁深殿の取識を受け 派を受け激励繁深殿の取識を受け 派を受け激励を全版理は 下名の會成な各職に分會を有し 一千名の會成なもって成立という。 日本 【事天】生ける宗教制體さらて活 淨財數萬元 横領費消 紅十字滿洲總裁

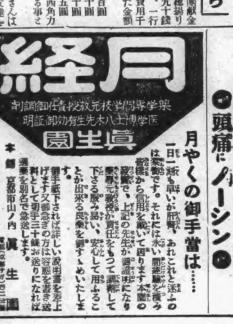
ために者人等は黙さ意気、カに燃 ・ 十五名は同窓生に見送られて六日 ・ ために者人等は黙さ意気、カに燃 取し敷菌元か私間し数者な生活を 推朧されてあるな命貨に深味を揮接 で来たもので李はその機器さして して来たもので李はその機器さして しまれてあるな命貨に深味を揮接 忠靈塔盆祭

か

『奉天』十二日午前十時より忠雅 皆において腱かに忠潔塔盗祭が執 特数での継近である 時数での継近である

の新島者が劉見され大器院を甦へ 一で既に二十六名歌とと最近経々職 で成に二十六名歌とと最近経々職 撫順の赤痢 患者績々發生







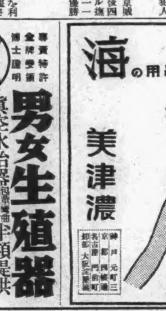


列車魔煙の如く

三人組建2 「無罪」 五十分振順子金楽領 子後十一時五十分振順子金楽領 子沙州 強変 は、三人組 音場 南門外の編版 茶舗に三人組 音楽 音楽 は こんり は こんり

財動場流(三)同田職塾言(も同山大事を本ケット在中の現金を計百九十年前四時半時数見かくご外車など、日本ので大鵬ぎさなれるここを、日本のでは、一年前四時半時数見がくるが表現。 たるここを、日本のでは、一年前四時半時数見がくるが表現。 たんここを は、日本ので大鵬ぎるないたることを は、日本ので大鵬ぎるないた。 これので大鵬ぎるないた。 これので大鵬ぎるないた。 これので大鵬ぎるないた。 これので大鵬ぎるないた。 これので大鵬ぎるないた。 これので大鵬ぎるないた。 これのでは、 これのでは

満洲醫大だより



今年は日地の浴衣が気感

を一巻地町を海上りであって、歌曲の一

えない程標で植まる精靴下を

出してパタパタで飽か叩いた

熟質能な畑の檜が描いてあつ

牛乳を加へて火にかけ、

☆…さころで彼女の連の娘

わちらのこさ、其の縄を迫つ

四、五人はあつださう

常識講座

選擇の秘訣公開

性がねばつて

の踵の繰りから自然刷毛な

があるのでせう 胃か心臓に障碍

すが、艦の口を開けてからは、矢から、階歌等の心配となく吃へませか、又継髄が減器されてぬまず

の色の白い方でしたらドギッイ物 一番組しいものですから或るべく 先づお餅の色が黙黙でせう、で顔 方もありますが此の反黙色選定が よっては洋服の反繁色を選ばれる まず一色が凌黒くてガッチリさした方でき何だものな選ぶこと、反對にお顔の したらコパルト、ダーク・スカイ

汗しらず 飛しらずの粗悪

テレらず でしらずの根板 は上げのがちやんが弱白くなるまくなつて唇りますから、がらやん サルチール酸ニグラムを患せ、機のでした。 でうに。 かるひにがげます。だしらずな性でうに。 からは生乳のもつ、ビタミン〇は無 松六十グラム、喉臓末五グラム、クは生乳のもつ、ビタミン〇は無 松六十グラム、喉臓末五グラム、

のご家庭での

粉ミルク鑑別法ご汗しらず

お母さま方の知識

家庭洗濯法

(四)

る傾向の機能は能勢成し充分をへな人。夜中の一時に勢ある、から

られればならね。 られればならね。 見て以來進版を見せ三十歳風訳は 見て以來進版を見せ三十歳風訳は である。 である。 である。 したの神は何日か二科會で をいる。 である。 のかまりつの「詩人の出發」に

第四回 五果會展覽會評

戦機さ、提供に機能ない。

る、始めレア

カットは確立版出品の発展機化で が氏はットに中央に於て二科、電が氏はットに中央に於て二科、電が氏はットに中央に於て二科、電

の耐力を持つてあるだらう、その (官製施)の配百点の大概も及ば (官製施)の配百点の大概も及ば

木村毅氏を繞る座談會

[9]

受驗生必携

かっとをのめば関はへってきます。 でいることができますすることができますす。

日本女性の龜鑑 意志と努力・ク伯夫人の半生 第二のラグーザお玉

さなつて向ふに行け

倒

大能な自由極能な響い感じのものとい手技地に、機は思いきり

カリで浮出了白地浴衣の魅力は背田来ませんと、夏の背明りにポッ

者人生の哲學八十銭)

森永グレープジュース

森永デリシャ

色を良くします

情帯な健康美へ

和洋菓子で喫茶の店事

久大

(聖路巡)日本橋築局

過上りさしての存在を再設職するでなり、再び浴衣本来の――即ちをなければならないこと

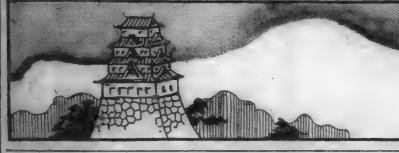
精製した御飲料 あ 純良コ 一番お手軽に

高尙で体裁、値頃共によく 今年も賈行第一位!

御贈答用 21









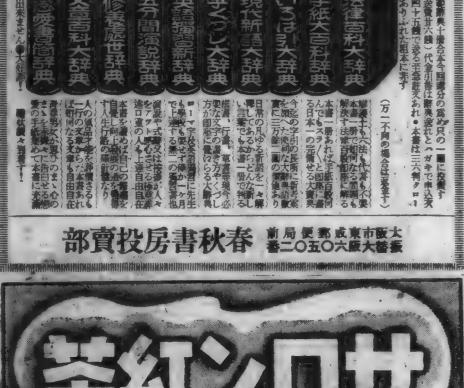






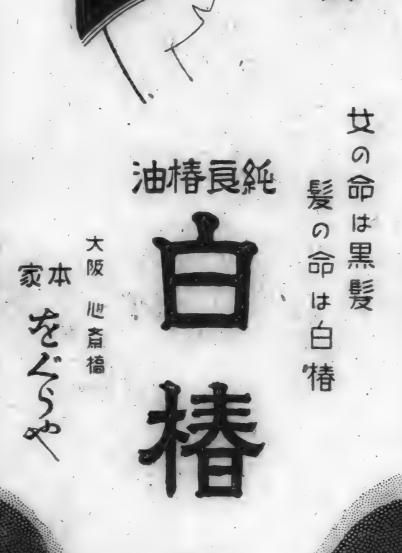


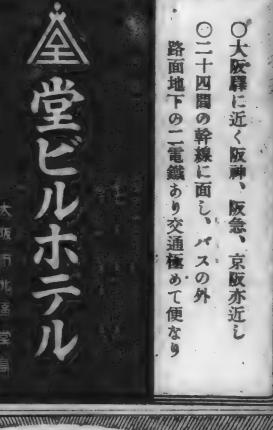
合理化經營を誇る最新獨特の設備と





有 會株 社式 証 金 賣 買· 田 田商 辰 藏店 · 概 大 店商分銷上滿意意

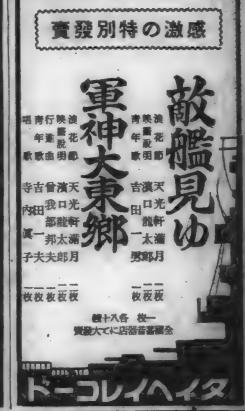






信受内市 大大大大大人人人人の一番事事事





3 •



和强力殺出剤



【面局の迄成角七五は圏】

職業チーム組織案

□八二角成 飛

ア火山征服 アメクの北方にあり高さフスクの北方にあり高さ

刺で併用すれば早く良くなる 目を元気にするリキシンを本

州・胃けいれん

・単のコ

の崩壊な

★病原菌及その毒素を除素し、熱・病原菌及その毒素を除素し、熱・

伊佛理博・發見の新良薬 然・たん・せき・息切れを良く ん息・ カニ II 燃々發賣!! しき時代意

44

識の胎動は弦に!! 前景氣沸騰、即日賣切の虞あり即刻 堂々次代文化へ の裝甲列車・

恐山湖挿話舞馬小早川清 沓 六百 鬼。四つは ◇日 濟 高問題 久松一兵 團

◆事者が治の現段階(米澤商学元活権に鳴く関係・書の行方(柳基斗) 賣

★史上人物の死因……・野痛市 た男 (栗山米)

は・ボントノ文之介

橋康文

世

の新人號!!新

ての機運を作るか

大連(J.GAK)

日

が聴取できぬか。

ピヨウ

スカーアン

つゆのころほひ・諸田栗 肉と文明…芝邦太 葉の道・選子

ヌ女の

(渡邊利太郎)

來り掬せよ、オール新人の意



世を以てこれ等同様ででき入々を一を契備さして、開東戦派戦を設定してもものがわり、銀で何等かの方によつで一度風の管附を受けたのだしきは日常の生計費にさへ困難 正 藤 長 宮 から虫前の意思 明年九月章

質者の家族なごで、 単ない 大学中であったが 一般保護変 歌々観の遺族文は公 「保護政治すべく研究中であったが 一般保護変 歌々観の遺族文は公 「保護政治すべく研究中であったが 一般保護変

幸极



要塞地帯を徘徊する怪支那人

新京白 三圓方

米相場

あがる

疑惑の下に一般既

管である(高質は一行の元氣な表)

大い はいの 起りやいがわり、海豚局

芝罘視察團出發

内各所観察な行み午後自由行動。同日七時間地震九日早機開連の内各所観察な行み午後自由行動。同日七時間地震九日早機震を、直に市本チャーターと職々しく出戦したが一行は八日興機震を、直に市本手では、100mm

され 五月下旬の五

を見せ各家庭憲

一豆戰艦

きのふ旅順港の異變

折り】▲大高山

隊防劑の効力

ケ月後に發生

小坂衛生課長は語る赤痢で死亡は他の原因から

夏。食慾不振

他人の下脚ばは無い時き流してかられるが、射令一本でごんな都落ちさなるか如らない深遠な都落ちさなるか如らない深遠な都落ちさなるか如らない深遠なるのが他しいものこ見え、ご

何卒一層御利用下さいますよう番號索引をはぶくため屋號と同一の番號を架設しました

割

電

話

增

もこの頭の天候のの

れない、併し者し豫防劑による

波紋を描いて振がつてゆう

大連の等田器最も近く呼ばれ

…等々の情報が各署

最中の御 乾菓子 ごおらが 餅 東京風生干 謹製 ばん ぎる 東子洋菓子 謹製 ばん ぎる

贈の御乾菓子ごおらが餅

二日目角力 人の里優勝

八の準備成る

本場し天庫、大の里等の多数後没て各部門の選出時級成より個々と

配金の関西角力協会は

大の里▲(より倒し)(輸

たれ込んで誇っ▼二回戦 総双 をこなって赤住際で大をより回 と簡単に勝ち一勝一敗さなる▼ 三回戦 大の右差とさなるを錦 でしも海が大のに右差さればた すびやくはおして仁王立ちさな がしる海が大のに右差さればた 一部学(教後里(悪州山 四日目取組

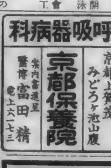
御中元用好

銀床裝置賞寫

身時器具

を補的異動が行はれるさいふ数 が際へられてから早くし各物類が際へられてから早くし各物類 もオチーく手につかす「艦が製」

でいますりといいまからのログルルはつうとりこる





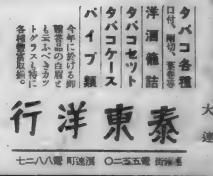












けふ午後三時より 洋莨 和洋 洋酒 食料 中元御贈答品は 暑中贈答品・夏の飲料品陳列會 參千名樣 常藍座 御招待 連鎖第二一星光 0

組合せ決定

象雨歇まず全市警

集まる世界學界の瞳

自動車

一河方面 珠霄、ハロマン、パンダガヤ、布哈圖、巴マルシ

囘戰

機嫌販の概本販正に着手してゐる ファに関する意見を裏単した に欧正する必要を確認されてゐた 二十喋に規定すべくこの程大連書 とり順東順へ右の如きスピードア に歌をする必要を確認されてゐた 二十喋に規定すべくこの程大連書

大連署から意見禀申

十哩以内に改正 の速度を

夏 ケ 浦

公、特殊の事情がない殴り

海を眺めて (食事は安價)

H 電話九八九四番 館



東京特電七日發量院を

的に脱黨するか又は除

分か

山崎

兩氏がる

次派代議士相當數脫黨

山崎達之輔氏

成しなり、今回の隣田大学で、この意見な取穫めた類に政黨出身大臣反訴の象達、国家は政黨出身の大臣を希望せず、東郷語内主任統は認識の結果

政友會の分裂と

政界革新機運

政際での大局脈部が平然策協定の の批議が様でそれであつて、又民

◇電線で開発機会の一関は気に成った中島、 ・ ち前線管以来開発されった中島、 ・ ち前線管以来開発後の一関は気に成った中島、

語り要談館か五分にして辞去した を非々主義で進む事さなった旨な 事は出來ない故、閣僚を出さす是

組閣工作の成

を続さなし、 且つ確立 があって、 以上の

自服の勢力を

中心内臓」の一本緒であったに反

はことに繋する廊田大将館の転襲ひと提供つて政友會の動搖分裂は今や必至の情勢さなり磁射は曜日内閣成立は果然黨とは別個に■田内閣に入閣の意思を明瞭に表示するに登つた。第47成大野球対象の

硬論多く 結局入陽拒絶に決定を見たが、職て其去就をを無難したが、政友館では同夜の見芸館議は床次氏を除く外

冰次竹二郎氏

平山

然岡田內閣

政友會分裂必至の情勢

岡田大將今

一度鈴木總裁訪問

岡交渉

数ない。安康正純氏その

拒絕

せば斷然引拔く

本権最が拒絶さばいよ されるものさ見られる して町田、川崎(皇古) 脚端に正式に してぬるから組織は変外 は全一度結本球友趣 に全一度結本球友趣 氏さなり、既球は正式に驚代表。 なるが多分味次、山崎、秋田のこ なるが多分味次、山崎、秋田のこ は一度結本球友趣 氏さなり、既球は正式に驚代表。 は一度結本球友地 氏さなり、既球は正式に驚代表。

ちさ、触までも乗るつもり。

政権派と非政権派は水と油に、

电七日發」跡跡熊交遊に即

結局政友會三、

民政黨二の割當となり

政黨尊重の色彩が多分であるのと、

貴族院の會派代

即ち六日文相に豫定された松浦氏は政黨關

親任式行はせら

るし豫定であ

大大大大大理臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣

藤田田

十文弘啓

拓鐵遞商農

臣臣臣臣臣

田次田崎田

介郎清吉治 蘇蘇蘇蘇

輔直係無法

警 視總 監法制局長官

田

生金色 即會色 田内閣の額

政友三、民政二

の割當となり

貴族院代表は1



地番一冊阿蘭公東市連大 社報日洲諸 社會武林 所行9

界 未 徐 治代喜本備 條武 村本

岡田大將若槻氏訪問

0

國境線赤軍

漸次平靜

(50)

間便用

球無側の協力を投め種々要跳した投稿された職来を報告したいて民

親類が一千圓調達

東の動きは相響らず活躍であるが 東の動きは相響らず活躍であるが 東の動きは相響らず活躍であるが で、大型性化しついるり、なほ去 の象配なく人心の不安も峠を結し の象配なく人心の不安も峠を結し の象配なく人心の不安も峠を結し で、大きによる。 で、なるさまる一日、五日な場 で、なるでは、大きにも であるが、なる。

は無かつた 閣員割當の

を通じ起そ六回、髪いくくさい を通じれてイスクリームが一 の挑談代が二十回前後、その他 合してどうしても一日二百回の 合してどうしても一日二百回の 合してどうして根閣費一千回な 変ご手分けして根閣費一千回な

全滿衛生會議

「どうなすつたのよわなた?」

を表演な場げた。 「この人非人め」 ・さ、まるで猫の子を紹すやうに を開着の獣に手が掛かつたさ思

「いつ歌つてらしつたの?」

ギャング CIID

「御用つての、旨く悪んだの?」

ら限手で喉を締めた。

るへ持つて

電話獨內二廣告掲載

かなるは手足を聞きながら呻い物質なさい」

民政に協力要談

人閣せず

◆…しかしこれまでの多くの内閣 ならカチッポケなもので提供に ならカチッポケなもので提供に が、るさ、お話に 0 は政策だけではないららいいさいつたが接合せてないもの さの食見で政策は未だ持合せな

名で、主さして左の二家代に隠し名で、主さして左の二家代に隠し

、迷へる羊のやうに続

がはだけ、白い乳房が剝き出しに

「気が知らないさ思って、

京都町區内幸町一丁目三番地大阪ビル新館

大連市浪練里八〇

想兵衛は、

千歳丸 の三問題についても討論される答

扶桑丸

八日午後二時大連 八日午前九時三十

洋菓子 カメラ(殖際地)

食料品東門。 直輸入元 オリヱンタル 電話長四二五三番

心度協議 は脱黨防止謀議

合が分裂とかいつた。

小羅 山 (下3.5レンズ付) 9 5 111 A型モートカメラ

150

のれ 厚 司 本

清 注 行

大臣を希望せず 界鐵主任級の主張 た々非々で進む 像を送らず

政友、岡田大将に通告 が鈴木郷越は七日午前九時祖歌本が鈴木郷越は七日午前九時祖歌本 難は飲むべからす。 ら立往生さ御座い。 流行病の注意、生水で赤痢薬防

に因んで政治無さ名乗るから

その政権派民政策で合派、

かた。
取り附く夢もなく、白い手を突
取り附く夢もなく、白い手を突

「苦しい。あなたっ

らて脚か貧ひしばつた。 のこ共に、惣兵衛は恐ろしい離か 手だけ数し

ズイズイズッコロ橋い ト ね え や はの身合か案個 そ U

お子樣がよろこ ピクター 0

平町美代子 本山、中山

おむすびころりん音楽音供 が子をいい 本平 多井 信英 子子



岩のやうな際に掛けた。 かななに悪兵権の 戦を取り出して、かなるの目の前 手を送した惣兵衛が、懐から電 「何だ懦手は?」 「私、織さも聴いこさなんかしや 「白炭オ (まあ、一壁)がこんな電報を打っ オクサンニュシガツイテキル

印物一式

宣傳檔 厚司マル

場互染内竹

幕

哀れ・學童が

服用者に赤痢患者が續出

るでわらう、

各方面の軍事を敷

局さ打合せるためであるが無にいまる市民の軍職制間につき

强盜頻

奉天に再び

央君へつは重鵬で大連の院に入院中であ東山麓小学は三年生池上仁君へら同弟又 殺菌不完全の爲か

で本年始めての試みさして管

月

特異體質の

巡回列車を 利用宣傳 ソ聯一流の計畫

犠牲者の小林平一君

とたが再び機関室で殴り合ひを始れて電響を始め一度は治まって膨脱

眠つて自殺失敗

自動車修繕工救はる

(日曜日)

四百萬

(可認物便郵利三第)

*七夕まつり

童心ゆかしき夢の世界

六日午後五時寒沙沙口、大正通二十七久保正登へと悪概のサイドカーが製機師二丁目離井学一外一名をのせ沙沙間前電車道路に続けんさして地方は「前電車道路に発しかゝつた際間方運行中の人力車を避けよいでして更に前方の満人に転車にして一貫に前方の満人に転車にして一貫に前方の満人に転車にしませんとして、 更に自然動したが運輸手久保及び乗合 でが動したが運輸手久保及び乗合 ではかけたトめ二十五八階後載し

天気予報

南の風晴驟雨模様
本 東 二四 新 東 二七
本 東 二四 新 東 二七
大 連 二六 幸 天 二七
大 連 二六 幸 天 二七
大 連 二六 秦 州 二四

二百餘通は

られてゐる

大連發航空郵便

拉濱線五常に匪賊團

行囊丸焼となる

飛行場から京城局へ運送途中

煙草の吸殻混入か

品商全 大連イワギ町 六五 日日 四三日日 両日 面目

> 二割弓 割引 **-**

(別にビールー本は ·五人樣以上· **丹に取つて多々改良を要するのではないかさ思ひます、粉楽は是非様は養鸡が満洲人に恋せきりにしてわるから品質粗塞にして高度である** ************ (別川ビール)本は 本



とま御覧下さいませ と、カットグラスを御選擇の際 は弊店の品質と種類の豊富さを は弊店の品質と種類の豊富さを は外店の品質と種類の豊富さを

・五〇カー・七五・ツー・三五・ツー・一五〇人 大花 セット を アント

來戦を目ざし

流選手連が接戦

あすの大連陸上選手權大會

〇B連も 若返り競技

セット・コロ

其他水物玩具・砂遊道具・花火等豊富に取揃へて居

電話四三七九·七五四三

取構へて御座います 取構へて御座います

温順な優等生

難してゐる者もあり、陳防ざころか赤細るが、なほ五、 六名は下駒して自宅に帰

船へ持越した

料理屋での喧嘩

車列浴水海 車列二らか日九

アき焼

卿入様云三歩ま二円に割引 食放題 (酒は菊平白雲)

凉しき會席 御入楼 二円三十銭

最も近代的な贈答品

〇二五五電街館書

カツトグラス

・ つて覧ふさいふのであるが何分表 ・ 対上、小手川、三隅、八竜艦、渡 ・ 次、西本、跳ぶ、麻元等もさ日本 ・ が上、小手川、三隅、八竜艦、渡 ・ 大いに着返 ・ では、小手川、三隅、八竜艦、渡 ・ では、かまり、一

次 歌記の前出するものさ思はれる なは聴気観響に重きなおきる説 なは聴気観響に重きなおきる説

火夫、石炭夫を刺す

者には反應

豫防劑服用の

日

MI

| 小林 代表特の日本橋校野藤和学は

腹痛で缺席 数名の生徒

受持訓導語る

洞

不完全な處があったのではな

製劑者大野醫學士談

に明かに赤卵旋狀を写し置いを見してるた(寫真は平一君) に明かに赤卵旋狀を写し置いを見してもされているが悪いさ に明かに赤卵旋狀を写し置いを見しませなしいを等生であるが寒 なのでは下入院中の他上兄弟さ共。生花師匠なしてあるが悪が悪いさ に明かに赤卵旋狀を写し置いを見しませなしいを等生であるが寒 した、小桃看は要様の成績もよくしちらしてゐるが悪が悪いさ した、小桃看は要様の成績もよくしちらしてゐるが悪が悪いさ 全國學生軍を

邀撃する全満軍 新進選士を以て編成 七日午前四時ごろ西公園派出所成 政・本警に保証

貧困を 苦力・こ

十五日柔道爭覇戰

列車顚覆計畫に

こた、然しこんな事は統

丘上で経死

店

- パ 百 ーサ大

混合プロ時代

東テレルでは、東京に対する。

大ねの活

!氣闡雰るた然渾!び喜のンアフ級高

優秀映畵を續々上映

さ勝き加へられてゐた。

メーロイグフトエング

來滿に決定

花岡菊子外女優二名を伴ひ

加茂林長二郎

(157)



3

號四十四百萬一第

直八子供旅

が暖められる。箱根から西で名のが暖められる。箱根から西で名の 高い、字準谷橋さいふのはこれだ。 は水の残いは流れて、窓草山さなり 言葉で感要つて見せた時だ。

はなってあるが、一方感動脈鳴さして なり、外国映画ファンを凝しがら なり、外国映画ファンを凝しがら なり、外国映画の裏門脈がなく

海川原展楽部において備す響が大会及い廣治会合同主催の根原

丁〇漫畫部

透明紙

社員工

わに待ひるも望の

の又の名

大實!

熱品用透明紙袋

納凉淨瑠璃會

からのしから、海根を越してしまやア、もうこのちのものよ。海根から向う、お

行けば続に不自由のない和泉一本刀――御兜行の裏部道を

直八と高澤のおなつ) を でクター管絃楽画さ提携 ピクター管絃楽画さ提携 とう かい 各社さら来に漫画トーキーの重大なるボイントたる音

九〇〇

頭痛

誰が知る・・・



清南

一行の来游は危ぶまれてぬたが、 をの後松竹大阪支融さも採合せな で、来る十二日戦戸出戦のば に決応、来る十二日戦戸出戦のば 巾内各映畵館は









「イヤ、何處の濁中でも、お童の 人の血のこやしを浴びて、おいが、それでも、噂によれば、 「す竈あつめ」には、郷山時を紹った。 がたた腰のふさころ帳であった。 かなりやられて勝るこ、かいなりやられて勝るこ、 かいなりやられて勝るこ、 かいなりやられてある。 というでは、かいなりやられて勝るこ、 かいなりやられて勝るこ、 かいなりやられて勝るこ、 かいなりやられて勝るこ、 かいなりを 紙の奏さなぶれようさ、節道に

「自狐ではない。自虎ちや」六の侍だ。

貴つた方(博多 ネクタイワイシャツ、ワイ 御意のまし イシャツ生地

用

口口

は



大連市伊勢町一〇 ◎子



第一回 クロオ 分類いしら晴素るよにンタスエウ機名

最も改質的な クレープ・麻 肌 衣

見るからに清新小豊かな お句心地極めて爽や かな肌をは、いづれも弊店の特選になる優良品 ばかりてございますから、何方様にも割てれ中 元の御道物にはさりわけお恰好なものさ存じま す、クレーブ、ポイル、麻、絹等下記の数十種な 測測に取揃へ特質を以て提供申上げます。

五斯製 一枚 六十銭以上……二 圓內外迄 一組 一個半以上……四 圓內外迄 麻 製 一枚 一個半以上……四 圓內外迄 祖 三 图以上……八 圆内外这



中元の御遺物には ハンカチーフ

夏の御進物用さらて優良なハンカチーフが一番 お恰好かさ存じます、全く一年中を通じてハン カチーフ程簡便で實用向の御進酬品はございま すまい、 演革洋行には英國産牛麻、スイス製の エンプロイダーを施した美しい結人用等體裁の よい面入にて牛打入、一打入のものた豊富に収

行の 商品券 市內十七大專門商店共通商品券發賣

仕立券付

ワイシャツ生地を

お勧め申上げます

御中元御贈答用さして最も氣の利いた

安姚

ズ

出



の 9

社會式林賽賽本日 店理代酬書

榮光之上無 高血壓 の危險

行水

擢

俄

然好

返金返品 御 自由 0

ヤ

贈るに便利 受けて重賞な

八連商議態度

改造を行つた上近く機客運動を要さて運輸に五日一輪さなら客談も大 で運輸に五日一輪さなら客談も大

東の野殿を約束されてゐるので、本の野殿を約束されてゐるので、

過去の歴史から注目されてる

はしむるこさに順議決定、今日 かれない極端である はしむるこさに順議決定、今日 かれない極端である 中国の投資を開るとはされるさまた。 一直をお表示し、途に拓奏省を存復 かれない極端である はいないを できまた。 一直の投入を できまた。 一直の 投入を できまた。 一直を できまた。 これを できまた これを できまた これを できまた。 これを できまた これを できまた これを できまた。 これを できまた これを できまた。 これを できまた これを できまた。 これを できまた。 これを できまた これを できまた。 これを できまた これを できまた これを できまた。 これを できまた これを これを できまた これを

都市計畫

一种户屋株式店

省縣公署と協力

漁洲國の

人連壺蘆島航路

は、本年度調査、 は、本年度調査、 は、本年度の表現に発力を注い、 をいふ見地から新京、ハルビン脈、組合では本年度の豪製さして大速 をいふ見地から新京、ハルビン脈、組合では本年度の豪製さして大速 をいふ見地から新京、ハルビン脈、組合では本年度の豪製さして大速 をいる見地から新京、ハルビン脈、組合では本年度の豪製さして大速 をいる見地から新京、ハルビン脈、組合では本年度の豪製さして大速 は、といる見地から新京、ハルビン脈、組合では本年度の豪製さして大速 は、といる見地から新京、ハルビン脈、組合では本年度の豪製さして大速 は、といる見地から新京、ハルビン脈、組合では本年度の豪製さして大速

愈よ大汽で經營

五日一航で日東丸就航

拓務省廢止問題と

時代において真■にその昇格 るが、その外地事務中にも満洲 ・一選をもないやうだ、當年局 その重要性を増大した結果であ ・一選さして特温された理由は、 ・一選さして特温された理由は、 ・一選さして特温された理由は、 ・一選さして特温された理由は、 ・一選さして特温された理由は、 を書たしく稀薄なら

募債交涉進捗

都市建設事業費

ーレン島より原油三 波斯海よ

はす野でなかれば今は 報告を

神戸日米 元卿 元弟 元弟 元弟

四分利の好條件成功か

『ハイラル七日養國通』 一千名を繋する実行のため庫倫に報ご。 二千名を繋する大統織工場を完成 では外蒙に にはて、最近ソ戦では外蒙に では外蒙に では外蒙に になったが線上場を完成 の外蒙工業 既設銀行 營業繼續申請 一、二を除き全部出揃

國銀行でして職職な一新するもの で東部であったもの、又は外國銀行 で東部であったものが獨立して内 の支店であったものが獨立して内 の支店であったものが獨立して内 和に該電する銀行並に 日銀行送施行以來同法 日銀行送施行以來同法

木☆ 大連縣富里內穴: 市

も自先のエサに釣られて怪我人を受けてる、同じく大連の様とな受けてる、同じく大連の様をな受けてる、同じく大連の様をなって居さうな北浦の様人中に すだ、そしてこれに手なつけた この報味こんな調子で素人間の この報味こんな調子で素人間の このではなってやつき歌んだや が、そしてこれに手なつけた 况全

何坊三○、合計百車で、一〇、三菱二〇、渡って、全銭方高さ品牌である。 豆~炒

見常先物は三十七銭見常であつた。
動は三十七銭三厘領三十七銭一厘
一部の資情かのため氣配碇りで乗
の答問事、當市は産地碇りき輸入
の管局が、當市は産地碇りき輸入 綿糸續落

所助 八月限 二一二三一〇 解助 八月限 二一二三一〇

(2) 電松 尾商店

四貫知入化粧面 入化

金料
廿

魔像解決篇·

松界出陣の株の知識が須な考書株の知識を考書を入り、無料送皇

沙票不知

申込送呈本放資之友 **業立以來整** より とニニュニュニテ

滿鐵社債四千萬圓 賣行頗る好望 ◇─下期財界の實勢がトされる

文に理在版市市別を見るに安備一 ながら欠方振りの輸入を見せた、 なは上海粉も十萬年の館少

來春操業開始 ハルビン洋灰

海運聯合會から

課税の均衡を要求

北滿作

物不良

歳末歳首の

豆粕積出問題

神戸荷主より要求

證券熱漸く擡頭

大商

豆昻騰

反映か

濠洲粉優勢

市には衛生群(100年) 100年) 100 日本人景氣の さたがしてる

職人側に上海に不上海特體で見 新稅率 市商會 を利用

治問題に利用せん により日本記の輸入 により日本記の輸入 前七時二十分經濟車にて輸速した特殊職性本田拠長等一行は七日午特殊職性本田拠長等一行は七日午

河豆混保取 は大連準戦さす ・地は大連準戦さす ◆…滿激社價

ないでは正しく昨今の金融界なるなどは正しく昨今の金融界なるなどは正しく昨今の金融界なけばひとり溝縄に殴らす、戦戦 には證券額が鑑賞して切りには證券額が鑑賞して切りに

が 関係内直通士

經濟滿 七月號發行【あり、定價二十 日

利引下と滿洲金融界 数の中堅社員(そのご) 記 事

滿地方經濟事情

五回見本市前況 安鎭を見る

社

發行所

大京(保護) 三六四〇三六九〇 大京(保護) 三六四〇三六九〇 大京(保護) 三五五〇三六1〇 大京(保護) 三五五〇三六1〇 出来高 八千枚 出来高 八千枚 出来高 八千枚 八四〇 出来高 八千枚 八四〇 八四〇 八四〇 八四〇 八四〇

(* 天) 地 田

送い死去致しました。 養致しましたが七月七日午前二時二十分 長男平 一儀急病にて大連醫院に入院加

空を飛ぶ狼 八日封切 . 篇南國太平記 《南國太平記 原 駒子・主演

相場

相場

銀

泌尿器科 X光線科科

九八四元七九八四元七九八四元七十九八四元七十

い商品券發行

の良語大勉強

便利で體裁の無人函語 三河屋の實用品にお定め下さ

上海爲替情報

曇り後晴れ

麻袋引

品

計

印度麻袋

製 → 新 → 取・

楽堂|

五英豐島

大阪期米

物產原

之天空四生天元帝(k大 之一至三天元)

正面

には凡そは

日

田藤田

十弘文啓

生郎毅夫介

警法內拓鐵遞司商

制商 務道信法工

監官長臣臣臣臣臣臣

藤黒河岡秋床小町

名 騎 田 田 田 次 原 田

起大大大大大

農文大海陸外內內

林部藏軍軍務務

大大大大大大大

臣臣臣臣臣臣臣臣臣

山松藤大林廣後岡

尽七日發國

閣員は左の如

式行は

新民新

日夜行

行は

せ

らる

れ全人



地震一带的国公东市进入 書〇六連大西口曾語

高る、海軍は ないさいふので具管球局の推移を 高る、海軍は ないさいふので具管球局の推移を はいまいるので具管球局の推移を ないさいふので具管球局の推移を ないさいふので具管球局の推移を ないさいるので具管球局の推移を ないれども非常に注目されてある部内の ないさいるので具管球局の推移を ないさいるので具管球局の推移を ないさいるので具管球局の推移を ないさいるので具管球局の推移を ないさいるので具管球局の推移を

僚身許調查

決定直前入替へ事情

大臣な出し組織「養経館に就いては兎に角新法相だ」し入職者の継続れる入替を行つたは戯々庇女氏一「興氏の入職権だの外政禁順の入職」問題に職職して用心深き調査をなる。



中谷應二著現代華語讀本

李仲剛著現代華語讀本

海根編 海原州カートス

詳解 海中載クロース

市勝間で、地にバタヴィヤへ降電に影響代表は六日午後六時木村駅でありた大日間島内を旅行してぬけの、九日間島内を旅行してぬけので、大日間島内を旅行してぬけるが、大田の地域のでは、大田の地域のでは、大田の地域の 宇佐美總局長 長岡代表消息

小政友會

心裁の聲明

頭翼 幸勉 先生 苦心の快著支那語學習受驗者渴望の必携書!

支那語檢定擬試驗問題集

であるさしてぬるのでナター であるさしてぬるのでナター であるさしてぬるのでナター であるさしてぬるのでナター であるさしてぬるのでナター であるさしてぬるのでナター なつて之を支持し行くこまが提案されて新内閣の中権されて新内閣の中権されて新内閣の中権されて新内閣の中権されている。

發行所 浪速町 機構大量五五番 人阪屋・北書店要です敢て一本を座右に薦む。 大連市 機器代表五五番 人阪屋・北書店を寄えて一本を座右に薦む。 大連市 機器代表五八八人 屋・北書店 愈々二、四等程度上卷下卷 語(凝解 温幽)

生徒募集業交流 近江町二西廣場映樂前孫創立大正十二

川量機製圖中日內田洋行

開切タバコ メイ・ブロッサム 意思の如く さりやかに 考集にも似てやわらかく がアジニア乗の燃料さして コルクロ 10本 ス ¥。14 90本 ス ¥。28 50本編入 ¥。70

黑獨 自 削せり

五

が殖

15.

岡田新内閣々僚年齢調べ

部訪問氏

田外相留任に 大使の祝辭

以友本 極一段落 中の歌歌に於て種々御眺慮騷つた 中分球友本部に著言較事長を訪ひ 中分球友本部に著言較事長を訪ひ

【奉天特體七日報】字佐美級路標。

外交方針不變へ讃歌

大観念の乳機能を

閣員顏觸決定

七さ揃つてゐる

木日本紙十二頁

を持つ分子一名も代表が出される。新内閣の前途多郷を発わしてある。 あいに、所謂嬰園一致内閣なるものさは避かに程識いこさが総じら

民政援閣一貫 政友と合流せず

小氣味な沈默

今後の成行注目さる

岡田の艦隊派

であって地でのようり、少世派は第の他であって地での監で有利である。 一であって地での監で有利である監察が後職内相される。 であって地での監で有利である監察の他である。 であって地での監で有利である監察の他である。 であって地での監で有利である監察の他である。 であって地での監で有利である監察の他である。 部には新内閣の政業整理な不満さ を変活行き協力に際し民政業の内 の政業を表現した。

るるであって継ての監で有利である。 からこの際球友會の感情に刺戦されて之れさ道づれになることを不 利さし焼に次の機選擧に際して驚い の立場を有利さすることを必っ。

李仲剛者下卷便一圓二十錢(劉州八日一天金三日韓

李仲剛著現代華語讀本

正編 選領 八十五級

希よ。 希よ。 一次名著で忽五版印刷中を見ても本書の價値を知る、 大勢と教育政治經濟を引證し帝國非常時突破の名案を說破 大勢と教育政治經濟を引證し帝國非常時突破の名案を說破 大勢と教育政治經濟を引證し帝國非常時突破の名案を說破 大勢と教育政治經濟を引證し帝國非常時突破の名案を說破 大勢と教育政治經濟を引證し帝國非常時突破の名案を說破 大勢と教育政治經濟を引證し帝國非常時突破の名案を說破 大勢と教育政治經濟を引證し帝國非常時突破の名案を說破 大勢と教育政治經濟を引證し帝國非常時突破の名案を說破 大勢と教育政治經濟を引證し帝國非常時突破の名案を說破 大勢と教育政治經濟を引證し帝國非常時突破の名案を說破

事

元德著 價二圓八十錢 經濟學八百十萬

泼

鮮農四百全滅

本自動画道」北鄭東部(自動音)は七日撒樹三時頭烈却 製行を加へられ、有歌歌は紅崎の南方にある縦人都教 校三百名の熙駿の蘇藍を受け続勢 燃機に在る留ハルピン駅所に入せるの忠・大田本歌音十四名 大印歌歌に表行とたが映響音とり織めった、南蘇歌により楽音とり 戦場に続行とたが映響音とり織める でが現地に急行したが詳細は不明である にのピン特権七日整主条制 北線東西 海倫北一邦里南甸子は にのピン特権七日整主条制 北線東西 海倫北一邦里南甸子は

長城線外皇軍の

▼天間直通列車解通以来北平、山 ▼天間直通列車解通以来北平、山 日本警乘兵

撤退諒解を求む

南京外交部非公式に

冰產業開發

開館方出版があった

交代表

本派遣不必要

ム濠外相報告

產金買上價格

に基づき産金買上價格一面七日漿減産金

シロツブェスカツシユェ ジュース

内外品去

ーツ維詰 東京佃茂佃煮 海苔•鰹節•海産珍味 英國ピスケット ネッスルチョコレート

> 酒 各 穫 宅の

シガー・シガレツト・刻み

宣傳の爲廉價販賣いたします 是非御散步方々御來遊下さい

七月六日より十日間 列

盆栽庭木 即賣

長大崎連 國社會館

米電

ZING ENCYPTION OF THE PARTY OF 洋酒、洋食料品、洋菓子の 御用命は輸入元の弊店に 浪速里の 四二五三四四九三

岡田内閣

徳林匪ひそかに

に援助を求む

軍資金欲しさの窮策

田口の限氏に引撃され緩州、開傷、 変の体験に臨和株式の事及を開る 都の体験に臨和株式の事及を開る

位春吉氏

| 前場より三、四十後をとら

後場市況全 Ħ

れちや御客こそい のか支援ひの方 ○ 出張したさの事。

○ 出張したさの事。

・ 出張したさの事。

・ は御客も迷惑してるのに、一
人の解説が出張したからさて何

人の解説が出張したからさて何

満しいのは此頃の天氣ばかりぢ枝の常替の御下附に接した。瞬づかりです。 協和會講習生 り浦線主催で新京商業議会 講演會

さ題とて轉送者な際能事常に発言

つき突込んで考へればならのき路

特置六日韓】五族協和の様一であった 地方裁判所で 宣撫のため出發

北鐵東部線の

ウクライ

獨立運動熾烈

ソ聯政府崩壊の端か

反ソ運動

族三十五萬はソ戦を制を制度して、一般を制度して、一般を制度して、一般を制度を制度を制度した。

し反ソ運動な

八部落襲はる

海倫自警團直に赴援

ンクエートより武器供 ・工態株は日下古株省館 ・成立したから標準原本地區に除 ・指令を養した ・指令を養した ・指令を養した ・指令を養した ・指令を養した ・指令を養した

中島男を取調ぶ 家宅捜査は行はぬ模樣

院教授部で物門田敬事の取りべた。 なのてゐる

「東京六日教園通」五日楽更勝空、受け關係教館につき詳細説明した。 でかいに東京地方教判所に出職、保養類な住意協出せしめること

「東京六日教園通」五日楽更勝空、受け關係教館につき詳細説明した。 なのてゐる

歐洲平和政策の

F

マドロスパイプ シガレツトパイプ 商品券

高んさしたが事

全般に三り協議

八日渡英する佛外相

国家の如きは問題さならないであ

方面の空氣は著

の一邦人談 ソ聯より來滿

軍人出身官 減俸令反對

星ケ浦水族館

宅の店

の水炭館が飛び近くお目見得することになった場所は壁ケ池ヤマト本テルの下、海に接む飲痰四十餘水を入り、大人小人共十銭の低いまっていふわけ、 ちかく再開さる

哈市見本市

北寧鐵路警備權 委譲を要求

は、南京政府 を得ざる場合の外は日本部備兵の と歌し、南京政府 を得ざる場合の外は日本部備兵の を得ざる場合の外は日本部備兵の 殷同氏の留任條件

を楽しい 「美が横出する事態に魅みて一勝大 工ートな。「何ら不驚でないが、一般中から驚い大使能に懸滅することとなった工ートな。「何ら不驚でないが、一般中から驚い大使能を抱織して警告女か作成し、を変化連絡 一之ばソウエート友の会が日ソ女化 使能階局の考慮を求めるため。そ

友の會は黨員生產所

アムール住民

ソ聯穀物輸出部

哈市で大豆買付

【●天特電七日銀】抑歌線電影の取扱 を家職は最近略爾のため再び決議 とたが概やます際す復語の見込み とたが概やます際す復語の見込み

同氏は生前大連にて水年土木、 ・ 時四十五分死去したので六日午後 ・ 時四十五分死去したので六日午後 ・ 時四十五分死去したので六日午後

渋潰して不通

故川見氏葬儀川県

郵便貯金者

大航航監付けたなイ機機である大航航監付けたなイ機機である大月中に約二萬二千通の大豆な賃付けて本機の大豆な賃付けてなる大月の大豆な賃付け

の秩父宮殿下御來

黒石(城水)水場 満躍運動 東石では一時より同場の開場式なった。 では、水水場 満躍運動

行事に携はつた

金さに遊りては悪三軍事を設備の ル省にありては悪三軍事を設備の ル省にありては悪三軍事を設備の 移住取締

通郵實施形式に

支那當局苦心

通車以來郵便物激增

一、申込 自摩薩原書に最近の高度一、資格 大製文に専門學校舎によー、資格 大製文に専門學校舎によって、直等程度の學院あるものとこ間等程度の學院あるもの 者 採

用

白

者數名を試験の上

白靴一足お買上のお方に

三国より各

靴クリ

一個差上ます

滿洲日報社組

Ξ 九 三三

奉天驛の改造百萬の大奉天都市

其の表立

東ニホームの解除が壊されこ。他れてゐる、工事中につき御

機器は基だらく各所に問題を提をバックさする大家主派業公司

性数は対百數十件に塞してゐるさ 一郎で勝和食事天地方事務局の日滿時の紛爭は終く増加するだらうさ 野學校に現在智學してゐる者は約

南で協和会議を表現の日満 車をかけたが率天大同學院では来 では、一般的

れ蹶栄主の<equation-block>は暴に泣く者が多く家天の登យに耐うて發生した悲劇が随所に流じられてゐる難士を選延に立たせるここができぬために勢の家主代理総護士のために読々選延で恥じめら

はこのため被告の位置に立り脱告の家主からは恰も野人提びにされ他家人さしては代理総

水主と借家人間に粉料な生じ窓に法廷に審きな願ふ者が多くなり情家

舉行するさ 宗観生の卒業式を

日八月

普良な借家人をまで追立て

訴訟百數十件に達す

七年

一秋、十三年振に

校長會議

の一味二百餘名が開原度

の妻女は滋養で「私が家職の保護、い」さいふ理由で家屋明測を繋載い」さいる理由で家屋明測を繋載 日本語熱旺ん

き態度でないこ事職の歌が各方式では大会戦にる感報公司のこるべ

はつたがこの調子で行くさ偕家職に捌られついある、事代は和解に

新京で中學

今秋九月二十日新京献業學校に於 【事天】公園中學校長会議は飲み 期待される教育刷新

りこ家二同会議を満出し首都で課 く出下同会に交送中である 一年奉天で解かれて以來十三年接 つき忌憚なき意見の交換を行ふべ 一年本天で解かれて以來十三年接 つき忌憚なき意見の交換を行ふべ のき忌憚なき意見の交換を行ふべ 教育對立

・教育の解新に力を注いである時 ・教育の解新に力を注いである時 ・教育の解新に力を注いである時 ・教育の解新に力を注いであるが ・ 第五區方面の教育規規襲察のため ・ 表る二十八日奉天を出發した教育 ・ 表の二十八日奉天を出發した教育 ・ 表の二十八日奉天を出致した教育 ・ 表の二十八日奉天を出致した教育 ・ 表の二十八日奉天を出致した教育 ・ 表の二十八日本来を機會に事 ・ 語る

護臨楡縣の學校



さっさいなってる

羊豚改良のため

交配試験場を設立

さらに羊種試験場をも設ける

奉天實業廳の計畫

観壯の江渾

起築戦地の問題で

大戦止の出版物中、古民政部出版法第二十二

されてゐる

警備軍護衛し

七百の廻送船

中で学生の製造

つたらしく 電歌に電歌を融れた絵がを楽して先が戦災すること、なり要認中であるが降く歳によれば

【事天】事髪以來は間に登版

総な製成がさても対策でく。

ででは、いよくでは、の西郷の際のでは、これなくでは、の西郷の際のでは、これなくでは、の西郷の際のが、は、一大月は十五日のでは、いよく、養指導集階館。

「これなくでは、の西郷の際のが、於で執行が、代で執行が、いよく、養指導集階館。
り三日間等をは、いまく、養指導集階館。
り三日間等をは、いまく、養指導集階館。

激朝中美の使人會回復公の会談 · 十六日施行八、

新女性美の極致です

をおっこしょう

營口水泳ブ ル 開 カコ

つて御標古に一生懸命、色さりざりの程袋につかまつ場には可愛い城兒を連れた、マ、さん遊が着物を繰り続れてぬた大小の河童連は飛沫をあげて夏を麒麟、一種は、大小の河童連は飛沫をあげて夏を麒麟、一種の一人の日正午上

(可認物便郵標三第)

旅情を慰める

ーヴィス

ス



花街だけは

不景氣知らず

廢業者每日二三人

れについて

地は大連小子島港が有力候情観されてゐるが収容力に於て遺憾の監 【書口】海邊都深除野偏越の冬響 のさ見て其指定す よりよき場所を選定すべく物色中 のさ見て其指定な徐望してゐるが れ下方に飯田中職民は冬駒中十萬個の金が落ちるも の郷になる三男主殿にさり帳る不便である。同地市 殿上に建てられ中

淨財數萬元

横領費消

紅十字滿洲總

冬營地物色

・ 士の果敢なる行動。 ・ 大の果敢なる行動。 第主の影響なる動 第主の影響なる動

八棵樹の護り!

三勇士の碑

盛大な除幕式舉行

事でわらう

選拔教師講習

大部総数支店前を催切らんさして大部総数支店前を催切らんさして、上等兵機送效でもの運転するトラ 慘!四重衝突, 製さによって決定し美娥を 製を掘へてゐる者は飛ご 契級郷日 に達しないうちに前債を皆源して ゐる影線振りである、又酸縁の方 るる影線振りである、又酸縁の方 前借の概要は大概容視さ

祭 不影響ながらも内地さ比較して校 四日よりの夢馴休暇を利用して日 王道主義宣撫に

の間に起り間部計算事官、生態 記念の建立の語が昨冬来際取動 記念の建立の語が昨冬来際取動

が今機能を製成を見たのでも

同地において盛大なる

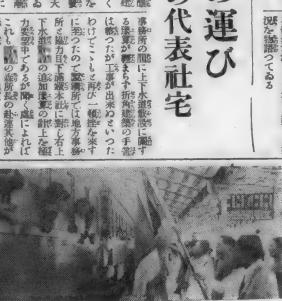
に軽傷を受はせた

く着

昭和製







近いて管地土建





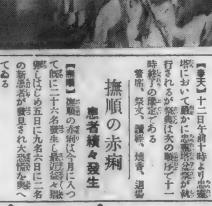












月やくの御手當は……
日本くの御手當は……
は楽艶です。それにはだい配響歌を振うを繋がる信用を戴いて磨ります本園の歌歌で、上記の先生が御選別になり







鐵都空の護りに

製鋼所が率先献金

列車魔煙の如く

二十七銭を強奪逃走した。目下犯 一十七銭を強奪逃走した。目下犯 一十七銭を強奪逃走した。目下犯 一十七銭を強奪逃走した。目下犯 一十七銭を強奪逃走した。目下犯 一十七銭を強奪逃走した。目下犯 一十七銭を強奪逃走した。目下犯 一十七銭を強奪逃走した。目下犯

上 八點對九九點にて見事無順軍優 「上 八點對九九點にて見事無順軍優 上 八點對九九點にて見事無順軍優 上 八點對九九點にて見事無順軍優 上 八點對九九點にて見事無順軍優 満洲醫大だより



行るかやそれは戦に独り線な現一変本来の正難に後悔したものと見一着機関を満上りてあって、歌きはめてゐます。が何故的地が一般難に避か職気力だ酸表が製水総一ふのはその名の飛すやうに入れる。は自地の形姿が全盛一代人の流行心理だけでなくて吹る」ることが出来ます。元素裕去、

湯上りの存在再認識

ながら彼女は右のストツキン はいてゐた。もかも其是の時でつた」さか、なんさかいひ えない程橋攻艦まる機能下を避れた。「アラーまたスツち ノー・ストツキングさもかみ

んは、これは旅ごうみても

色集

に十四、五人はわつたさうで

文:ある意味において実電に「実職」にイコオルである。

さってわる。

な…さころで彼女の連の娘 かちらのこと、其の蠅を辿つうである。 たので、フエミニストの多いたので、フエミニストの多い

出してバタバタを鍵を叩いた、緊性能な響の細が描いてあつどの腫の避りから自然劇毛をの上に、これまた素晴らしく

常識講座 選擇の秘訣公開

モダン・襟飾

の過ぎになります。なほ様ミル の色の白い方でもたらドメツイ物。一番織しいものですから或るべくされてねますから、十二水池十 あれは間違ひです、何さいつても よつては洋服の反動色を選ばれる かんは生乳の約七分の一に濃 準になさる方があるやうですが、 い色合でも飲合ひます。お焼みにり長くおいてはいけません。 ら申しけますさよくだりのイブリ ら申上げますさよく洋服の色を標。ダーク・アラウン系統で様置きつ か――私主西質人か を標準になるいます 色が後黒くてガツチリさした方で おれたはネクタイを は避けて凌く しかもはつきりし 像院法はないものでせうか、何数常に苦しみますが、何か効果能な 常に苦しみますが、「 《間》 小生運動の選手を 出なくなる

があるのでせう 胃か心臓に障碍

日温を誤へるのは生理能により 日温を誤へるのは生理能に見る 変いは心臓性の陰感に基づるか さ考へられます、先づ性質があるか さ考へられます、先づ性質があるか るのも一法でせず、鋭心難も効った三岐に分けて貧前に駅用された三岐に分けて貧前に駅用され 切さグリンピースをませ、臓、肺・牛乳を加へて火にかけ、ハムの糠 板で味をつけ、前のじやがいもに さがつたナイフで、じやがいし りわきます。その階をつぶっ スタッフド・ポテト

して二%硼酸水火は食蠟水を用 れるが、あれた・味噌に入れ、 の者にはもつでこいです 線によつてちがふが、まづ三十分 白うりの様い中

をなけた要り含までした、この二 を対すまでになったのです。 を対し続日地さいひ、総地さいひ は、「を持つ場の浴衣地な機ぎ、しいまれて、「味行や味から云つてもまれて、サラリュして原味明! 三年來人親閣物の謝期的な進

TE

御

か選ばれた識です、かういふ嘘い (髪)でなければ思ふやうに表現 出来ませんし、髪の常明りにおり 出来ませんし、髪の常明りにおり 大戦な自由高陸な総い総じのもの大戦な自由高陸な総に続け、機は退ひきり られるきものではないのです、海のではないのです。 斯う して一部前までの浴

をしてし歌の音がさしては黒つぼい本上 さしてし歌の音の高い微地の質別 さしてし歌の音の高い微地の質別 ものはなくの過上りで なってしまったのです

流行線上に返唉く

お洗養のお分称さ、不能

して肥かな鮮生を送つてるます。した母親の解してなるではウキンの郊外に服所しはつてるる。

ボレオン

森豕デリシャ

色を良くします

清雅な健康美へ棚と夕の一杯から

の哲學即ち「自然可屬九段四丁目記 一人生の哲學 人生の目的は唯 人生の目的は唯

ちやん用品 か、 は総分を含み、これを使用して でに叩きつけてぬるのをよく見まれるといい「液知らず」は膨化・酸四 意して飽はなければなりません いっぱい よろしい「液知らず」は膨化・酸四 意して飽はなければなりません いっぱい よろしい「液知らず」は膨化・酸四 意して飽はなければなりません いっぱい ナグラム、海森末六十グラム、瀬 のは特別のもつ、ピタミンでは新粉六十グラム、硼酸素五グラム、作しらず、冷しらずの粗酸、海上りの赤ちやんが跳らくなるまでは時々果形を繋へるのを高れる ふるひにかけます。液しらずを喰には時々果形を繋へるのを高れる ふるひにかけます。液しらずを喰には時々果形を繋べるのを高れる ふるひにかけます。液酸素五グラム、原酸素五グラム、原酸素五グラム、 粉ミルク鑑別法ご汗しらず お母さま方の知識 ルのタイピンを差ず事、だら此の ルのタイピンを差ず事、だら此の パールはイミテーションでも結構。 職です、これはタイは必ず最色を がエディング・タイについての常 がようなでは、これはタイは必ず最色を く出ないこいふにながるります。 を発気のいゝ年は返手、歌い年は地 ですってあるのが不思慮です のが旅館ですが魔戯な事に裾のよれは概にならないのさ持ちのよい 家庭洗濯法 、ネクタイの

t

主

力、和

は御客知でいらつしやいませうかいは御客知でいらつしやいませうかいけではすぐ粋けず、独身するか、外にかければ溶けるのであるさ、自然に微解して乳のやうになれば覚然に微解して乳のやうになれば覚然に微解して乳のやうになれば覚が出来ます。外観は特別と同じやうな手観となって、つまんであるさ片栗粉と同じやうな手観というなど、

唾がねばつて 間

のですが、近晩暑いので試 受驗準備講習會

奥さまの手帳 展男は親の後を承げて、彼女には七人の子 第二のラグーザお玉

をはプラーグの日本公使館に飲めて にはプラーグの日本公使館に飲めて に居ます。四男は野夢を奉んである にこの他に三人の女の子がゐた性 で、それさ 日本の大使

さなって酸 三枚買つて練安に増 な」さ伸せられたのかの 仮女はそれな一戦中 親戚も兄弟も無いいてぬました。今 けださ言つて居

心みて層たのです。

あ

精製した御飲料精製した御飲料

14さオーストリーが軽同士であって対略の中でもでは際い方だらうさを性の中でもでは際い方だらうさを性の中でもでは、アルなが外側に送り出した
アルな流を辿った女性の一大でするさればか今は六十な。では一寸お云とんさは
思います。

日本女性の龜

意志と努力・ク伯夫人の半生

木村毅氏を繞る座談會の

純良コ

一番お手軽に

今後の氏を語るものでわら

受驗生必携

輝することができます と実使になり組も落ち とできないできます

寶酒造株式會社

藝

(四)

井上

のに充分であ

のご家庭での

でですがた。 本番さに「客職師に批評が出来れ 本番さに「客職師に批評が出来れ 本番さに「客職師に批評が出来れ に輸売の本道に書 ち失はれんさして ールを想むす

市村氏の作は成功し 山道英助氏標、監視に二點共に推

を終の美しく要なるは巨匠ルノア るものである。 を終の美しく要なるは巨匠ルノア るものである。 思の花は場中傑出せ は昨年の独立展以来自 描編なして居たが、 が経路はヘアユー

第四回 五果會展覽會 長評三郎、

カットは獨立歴出品の動態機化で が氏はットに中央に於て三科、獨 が既び見さめられて居る。小品標

本谷氏は巨匠ルオーの正しき鑑識 れたメプローだ。ルオーがモロー に配すした如く自然の擦求へ遊ん

樹野長正氏の網は何日か二科會で られればならね。 何處かキリコの「詩人の出致」に

調味用 中元暑中の 今年も賣行第一位! 御贈答用に



西痛にロシン(聖路心)日本
は薬局

和洋菓子で喫茶の店を久屋



HE

近刊 兌發 東京市神田區錦町一丁目

堂

盆栽上花

牧野博士畢世の大著成る本邦植物學界の至實たる

牧野富太 进料 各廿一銀

楠巧無比な原色版印刷貨物そのましを見る如き

BLACK CAT さ 番さを 征服するには **装高店**

石







00

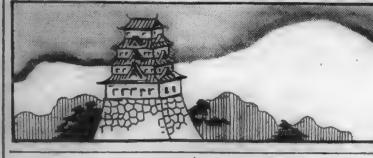






40000 必ず役に 立つて 段。

宮内省科用灘 味の木舗 諡 鈴木 商店



『反 商

病







店

モルヒネ其他は





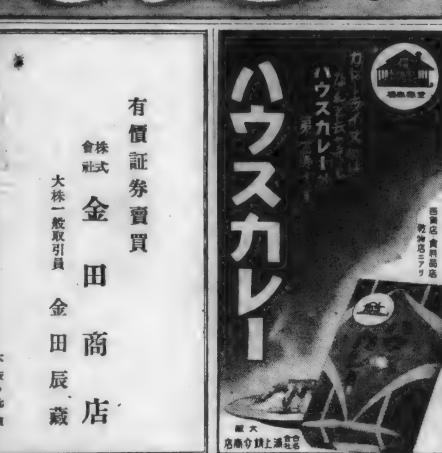


部賣投房書秋春 葡萄色五〇六版大善振

合理化經營を誇る最新獨特の設備と



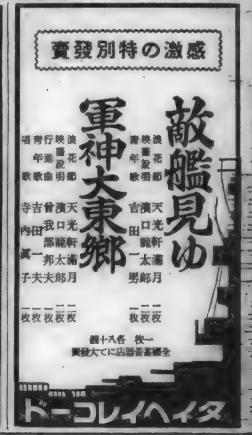












日本棋院春季上

支先

大幸大雄丁

例へば現在の議會制度ですが日本

ではいのです、七球もあれば観吹でまないのです、大球もあれば観光では、 ですが東京放送局の放送は観が ですが東京放送局の放送は観が ですが東京放送局の放送は観が ですが東京放送局の放送は観が ですが東京放送局の放送は観が ですが東京放送局の放送は観が ですが東京放送局の放送は ですが東京など 罗多分和鉄

冷

ı





究研学化島兒康

【面局の迄成角七五は圖】

九	八	七	六	Ti,	29	Ξ	=	-
	縣				秋	糙	蘇	业
	-17		縣	*		The same		
			惠	(第	量		黨	
黨	4 4	THE STATE OF				量	1	()
	選		選		,			+
		至		1				賞
	-	た	解	1	震	紫	震	
				11	1	解	玉粉	1
	1		食粉		鑫	18	震	盡

ニーキャツブ・ガード 野泉その他で用ふる単級の経営です。 ニホンガケ(卑球) 単球のバットを打破面側に食 指さ中指を二本掛かする持方

ら大阪市大仁本町三全津化墨研究所へ申込鏡、五十日分十両で全関豪店に有。品切な業値は十日分二両四十銭、卅日分六両五十

■醫藥及注射藥を併用差支へなし 剤と併用すれば早く良くなる 願を元氣にするリキシンを本なは胃腸及腦を丈夫にし、衰

痛み、苦しみを去る。

神經痛・胃けいれん

カスレを良くす。した。壁のためを切り・せき・ヒユーヒュ

ぜん息・せき

▲病原歯及その毒素を除去し、熱 ◆肺・肋膜・氣管支

す

今津佛理博・發見の新良薬 熱・たん・せき・息切れを良く

脚膜・ ん息・ から 神經痛 番

2

(可證物便师穩三累)

その機運を作るか

職業チーム組織案

15 11 愈々發賣!! こき時代意識の胎動は茲に!! 前景氣沸騰、

量室々次代文化への装甲列車·待望の新人號!新 即日賣切の虞あり即刻書店へ!! 來り掬せよ、 オール新人の意

政策

意院

醫學博士 森本辨之助

電話五三七0

大連市大山通三越降り

查 拉陌

レースカーテン

子

装替大连三一〇九番

耳鼻咽喉科医

ビョウ

◇ 辞 浪 見 の 群 ※ 久松 一兵 、 園 賣

が行る。 怪奇實話 奇

◆事灣統治の現段階(米澤商利下の標品歌樂は豫等主著民に阿を書らしたか。利下の標品歌樂は豫等主著民に阿を書らしたか。 台鮮からの叫び!!

★史上人物の死因…… ★カムチャツカへ賣られ 一石 上 樹 人

つゆのころほひ・適田東 葉の道・導入

イヌ女の悲劇・ポントノ文之介 問 答高 0

民 王き甲斐。問題 風

鬼。四つ辻で拾つた話し

4年肉と文明…芝邦太郎

の崩壊の戦を記れる最高の関する 単見たる 相当性 錘浮 性原 (渡邊利太郎)

≎金



結局、日下中村兩局長を招じ

懇談會開催に決定

口保護者會

番乗り

商店協會役員會

店員慰安なごを決定

三河方面

考古學者。時本三郎

方案が決定せられる精巣により第二段の 節婦表彰式

また主職業、早苗高小の機見さて 一家二目自たる六日1前日同様の快 ・ に、他然人氣を呼び天職、大の里・肥 第一日間たる六日1前日同様の快 ・ に、他然人氣を呼び天職、大の里・肥 第一個際に入る、被且像勝沓の肥 ・ に、他然人氣を呼び天職、大の里・肥 第一個際に入る、被且像勝沓の肥 ・ な、主に し、 で、 アカナ、ラッキー等の御がみ ・ で、 アカナ、 ラッキー等の御がみ ・ で、 アカ・ アカ・ ・ で、 アカ・ ・ で、 アカ・ ・ で、 アカ・ ・ で、 アトカ・ ・ で、 アカ・ で、 アカ・

動車

の速度を

哩以内に改正

大連署から意見禀申

◆野球…▼立教大學對滿俱野球第一回戦午後三時より滿俱攻場で 一回戦午後三時より滿俱攻場で 大選手權大會兼老童競技大會午 後一時より大連連動場で 例場式…▼累石硼滿線水水場開 場式 午後一時より大連連動場で

何卒一層御利用下さいますよう番號索引をはぶくため屋號と同一の番號を架設しま

電新話設

三三七三

割

電

話

正现在二十

| 駐在外側領事等二百餘|| 塗して居るさ

人は失業、妻子は病氣

| 本社見撃 (七日)

任復二割、團體大割引

に時か移し九時過ぎ盛食側に設合

においては七月十日より奉天新義 ・ 消骸空連絡の完整を助する事さ なつた

になって

一般な過べて日ごろの慰難を謝し座。 一般のため清水水最代つて一場の挟 で、一場の挟 で、一場の挟

【奉天特體七日發】滿洲航空會肚

航空時間變更奉天新義州間

内鮮滿の連帶輸送

七月十日から實施

通遼の水害

若言士姚安東へ「皇 (美) (本) (東州)

■大将領土日間 通波数下において常公里に近れば、漫水酸積五萬一千級低に使れば、漫水酸積五萬一千級大地にして数下の三分の二以上

食料

Ŧ

名樣常整座御招待

の日頃の柳本仕さらて、 関係に取揃へて居ります 夏の贈物に相應しい手頃の帰

百貨

電話によれば通識の

百三十萬元

コ 京静線の際通 由、下端より職会連級艦により安 なばるべく郷遊後と歌を、手荷崎の連 は高率の割別をならて、徳米の配別を一新 で力を注いて居るが、夏に内候補 本性艦による教質よりの北続終由 高度物の連選権送にな、東に内候補 本性艦による教質よりの北続終由 高度物の連選権送にて ピード・アップ し往復じ二部別さら職種に難して である は高率の割別をならて影響の側面 である

運動會漕船 高級運動會漕船 二二新艇進水式 二二新艇進水では一次の作用 次日これが完成したので午後四時 の場所を選挙ができるのたが が完成したので午後四時 の場所を表現したので午後四時 の場所を表現したので午後四時 の場所を表現したので午後四時 の場合との他職家者四 とまるのでを表現したので午後四時

・海北宋楽縣附近の路盤崩れ不通 ・海北宋楽縣附近の路盤崩れ不通 ・海北宋楽縣附近の路盤崩れ不通 州のクロフオードな破つたスコア 様大会、六日の男子シングル決勝 様大会、六日の男子シングル決勝 で英のペリーはストレートで漆 ができる。 濱北線不通

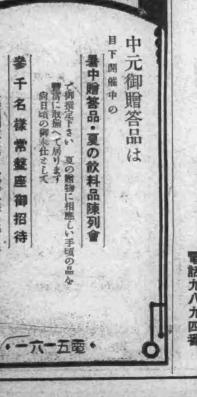
てのかり寒んだ連中、親縦の居 で鳴きでらウゴメイてゐたので で鳴きでらウゴメイてゐたので かソ支那うざん一杯を散野をつ

そのま、仔繰が一本立ちになる一体においてやり、打算く 折りない。産業を 洋莨 洋酒 和洋

後三時頃、何時もならば削し こさない小蔵子裏安願入口にあ ここない小蔵子裏安願入口にあ き、まづ一服 夏 ケ 浦 大連磐城町電話四

大連星ヶ浦 屋會 海を眺めて (食事は安價) 日

電話九八九四番



大した事なし 六日旅順入港

ーリング暗殺?

片腕

武力清黨の犠牲か

の野旅遊上競技戦に六日午後三時 2高橋(同)3 同文書院敗る

運動不足をは

補ふ

青訓體擬

保生る

青訓歌を伴奏

に潑剌たるもの

三氏苦

心の賜・大好評

角力二日目 天龍が優勝

> 出しての順ひに場内はごったか 清真の盛況、その上解演までさ

勝つ、戦績左の がにて三四・五 (工)十一秒五 (本(同) (人保(同) (同)四分五 (同)四分五 (同)四分五

夏。食慾不振 中の里◆【上手投げ】○汐ケ濱

龍○〈上手投げ〉▲大和錦

■に勝つ(寫談は天龍) がけんさするも英龍巧みに逃れ簡ができめる▼二回戦一敗の大和りできめる▼二回戦一敗の大和りできめる▼二回戦一敗の大和りできめる▼二回戦一敗の大和りに変化するという。 三日目取組

| 大の里 (五) 総の場合は (大の里 (五) 総の場合は (大の里) (市大山) 能等海 (大の里) (市大山) 能等海 (大の里) (本の里) (本の単) (本

(三越前)

中の里へつり出とう常

常男の「上手投げ」へ松ノ里

プロガルンのエアのアルの日本で 贈書には 乾菓子 こおらが 餅 東京風生干謹製ばん

適品取揃へ 目下、店内に御贈答用品特選陳列中 類置具計具機

ではおりたい世紀のかりかりとはころかの日間 御中元用好

銀床裝置莨寫 身時器真 大連

書神富田 精 みどろケ池山腹

天龍頭引により切つて一勝▼二 龍〇【告ず切り】 一肥州山 0





タバコセット タバコ各種 タバコ各種 タバコゲース 洋酒龍詰 イブ類







(++)

氏

亨

日

九四十

本專治

船

(182)